

西南学院大学博物館年報 第17号 2024

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.17





西南学院大学博物館年報 第17号 2024

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.17

巻 頭 言

西南学院大学博物館は、研究・教育の拠点として、また「社会に開かれた大学」を具現化するために、展示活動や本学学生の教育活動、さらには大学の枠を越えた連携活動など、精力的に取り組んでおります。

2024年度も例年と同様、特別展や企画展のほか、実習生企画展や常設展示室テーマ展示などを行っております。特別展では、キリスト教と科学、特に天文学の歴史について焦点を当てた「知のアトラス—宇宙をめぐる教会と科学の歴史—」を開催しました。企画展では、朝鮮通信使の表象研究に焦点を当て、研究室訪問シリーズ第5弾となる「描かれた朝鮮通信使」、他者からみたキリシタンのイメージに焦点を当てた「創られたキリシタン像(イメージ)—排耶書・実録・虚構系資料—」を開催いたしました。

そのほか、過年度に引き続き、國學院大學博物館や南島原市との相互の館での展示も行っております。

2024年度の活動報告として、本書を刊行いたします。今後とも、引き続き本学博物館へのご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年10月31日

西南学院大学博物館
館長 松原 知生

目 次

巻頭言	3
目次	
2024年度事業報告	
1. 展示活動	
1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動	
2024年度特別展「知のアトラス—宇宙をめぐる教会と科学の歴史」実施報告	5
2024年度企画展Ⅰ 研究室訪問シリーズⅤ「描かれた朝鮮通信使」実施報告	10
2024年度企画展Ⅱ「創られたキリシタン像(イメージ)—排耶書・実録・虚構系資料—」実施報告 ...	15
2024年度テーマ展示実施報告	20
2024年度博物館ニュース展示 実施報告	26
1.2 共同・連携事業による展示活動	
【南島原市】産官学連携サテライト展示・相互貸借特集展示 実施報告	27
【國學院大學博物館】産官学連携相互貸借特集展示 実施報告	32
2. 教育・研究活動	
博物館実習	37
2024年度博物館実習成果展	
「MARIA COLLECTION マリコレ—世界の信者はマリアをどう描いたのか—」実施報告	39
2024年度せいなんワークショップ概要	40
博物館刊行物・成果物	46
博物館教職員活動記録	49
3. 来館者動向	
来館者統計	53
特別展期間中来館者動向	54
来館団体一覧	55
4. その他	
メディア掲載一覧	56
寄贈図書一覧	56
博物館規程	64
西南学院大学博物館組織	73

1. 展示活動

1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動

2024年度特別展

「知のアトラス—宇宙をめぐる教会と科学の歴史」実施報告

会期：2024年10月21日(月)～12月14日(土)

会場：西南学院大学博物館1階特別展示室・ドージャー記念室

後援：福岡市 福岡市教育委員会 (公財)福岡市文化芸術振興財団

協力：九州大学医学図書館 九州大学中央図書館 広島経済大学図書館

広島県立歴史博物館(ふくやま草戸千軒ミュージアム) 福岡大学図書館

担当：森結(博物館教員)

事業内容

本展覧会では、2023年のコペルニクス生誕550周年を契機として、天動説から地動説に至るまでのキリスト教と科学の関係について焦点を当てた。当館のキリスト教資料(特にイエズス会資料)を中心に構成し、広島県立歴史博物館、広島経済大学図書館、九州大学医学図書館、九州大学中央図書館から資料の借用を行い、展示した。また福岡大学図書館からも資料撮影の協力をいただいた。関連刊行物として、展覧会図録(研究叢書)を刊行した。図録には、出品資料所蔵機関より画像の提供をいただいたほか、京谷啓徳教授(学習院大学)・尾形希和子教授(沖縄県立芸術大学)よりコラム、藤村拓也氏(町田市立国際版画美術館学芸員)に論考を寄稿していただいた。さらに関連事業として、藤村氏を講師として、公開講演会を開催した。なお展覧会後に、BHチャンネル(youtube)において企画担当者とヒロ・ヒライ氏(BHチャンネル主催)、藤村氏とともに本展に関する対談が配信・公開された。



開催概要

去る2023年は、地動説を提唱した学者、コペルニクスの生誕550周年であった。「コペルニクスの転回」という言葉が示すように、旧来の天動説から地動説への宇宙像の転換は、ヨーロッパ人が信奉してきた世界を、大きく揺るがすものであった。

アリストテレスの自然学とプトレマイオスの天文学とを基調とし、地球を宇宙の中心とした天動説は、聖書釈義と結びつき、教会によって支持されるに至った。実証主義の時代には天体観測に基づき、天動説に疑義が呈されるようになる。教会は一部の地動説学者の書を禁書とし、宗教裁判を行ったことから、近代では教会あるいは宗教と科学は、相反するものと見做されている。

教会の歴史において科学的探究や実証主義は徹底的に排斥されたかという点、そうではない。むしろ神学において自然は聖書と同じく、神の啓示を記した書物とみなす伝統が存在しており、自ら自然学的研究を行う聖職者も存在したのである。

キリスト教世界において、大宇宙と小宇宙(人体)の探究はどのように行われてきたのか。本展覧会では、地図、星図、解剖図を中心にして、その歴史を展観する。

開催概要

- I 宇宙の中心としての地球
- II 地球は動く―教会と科学
- III 身体という小宇宙



■西南学院大学博物館2024年度特別展
「知のアトラス—宇宙をめぐる教会と科学の歴史」出品目録

2024 年度西南学院大学博物館特別展

知のアトラス

宇宙をめぐる教会と科学の歴史

会期:2024 年 10 月 21 日 (月) ~ 12 月 14 日 (土)
会場:西南学院大学博物館 1 階特別展示室／廊下／
ドージャー記念室

主催:西南学院大学博物館
協力:広島経済大学図書館 広島県立歴史博物館 (ふくやま草戸千軒
ミュージアム) 九州大学医学図書館 九州大学中央図書館
福岡大学図書館

*他館所蔵資料の撮影はご遠慮ください。
*作品保護のため、ケースにお手を触れたり、ケースに寄りかかったりしないでください。
* No. は展示順となっており、展示解説左上の番号と一致しています。
* パネル展示の情報は、原資料のものを記載しています。

〈 出 品 目 録 〉

No.	作者	資料名	制作年 / 制作地 / 素材・形態・技法	法量 (cm)	点数	所蔵
Ⅰ 宇宙の中心としての地球						
ⅠーⅠ 古代の宇宙像						
1	アリストテレス	『自然学著作集』	1580 年 / ケルン / 紙に活版・木版、インク	縦 20.4、横 15.7	1	西南学院大学博物館
ⅠーⅡ 宇宙と人体の照応 天文学と占星術のあわい						
2	マルクス・マニリウス	『アストロノミコン』	1740 年 / バーゼル / リチャード・ベントレ 一校訂 / 書冊	縦 20.9、横 14.3	1	西南学院大学博物館
3	トマス・アキナス	『神学大全』第 2-1 部	1580 年 / ヴェネツィア / 紙に活版	縦 38.0、横 33.0	1	九州大学中央図書館
4	ヨハネス・デ・ケタム	『医学論集』(複製)	原本 :1495 年 / ヴェネツィア / 紙に活版・ 木版、手彩 複製 :1978 年 / ヴァイラー＝ジンマーベル ク / Editions Medicina Rara	複製 : 縦 31.2、横 21.7	1	原本 : オットー・シ ェファー美術館 複製 : 西南学院大学 博物館
ⅠーⅢ ブトレマイオスの宇宙像とダンテ『神曲』						
5	ダンテ・アリギエーリ	『神曲』「煉獄篇」	1491 年 / ヴェネツィア / ペトルス・デ・ピ アシス出版 / 紙に活版・木版	縦 31.2、横 20.6	1	西南学院大学博物館
6	ダンテ・アリギエーリ	『神曲』「天国篇」	1491 年 / ヴェネツィア / ペトルス・デ・ピ アシス出版 / 紙に活版・木版	縦 30.7、横 19.7	1	西南学院大学博物館
Ⅱ 地球は動く—教会と科学						
ⅡーⅠ 天動説から地動説へ						
1	アンドレアス・セラリ ウス	「ブトレマイオスの太陽系 図」(『大宇宙の調和』より)	1661 年 / アムステルダム / 銅板に手彩色	縦 44.5、横 53.0	1	広島県立歴史博物館
2	アンドレアス・セラリ ウス	「コペルニクスの太陽系 図」(『大宇宙の調和』より)	1661 年 / アムステルダム / 銅板に手彩色	縦 44.0、横 52.8	1	広島県立歴史博物館
3	ニコラウス・コペルニ クス	『天体の回転について』 (複製)	原本 :1543 年 / ニュルンベルク / 紙に活版・ 木版 複製 :2006 年 / ポモージェ / Bernardinum Wydawnictwo	複製 : 縦 27.0、横 20.5	1	原本 : ケーニヒスベ ルク大学図書館 複製 : 広島経済大学 図書館
4	ヨハン・ガブリエル・ ドッペルマイヤー、ヨ ハン・バプティスト・ ホームマン	「ティコ・ブラーエの仮説 による外惑星軌道予測図」 (『百図地図帳』より)	1712 年頃 / ニュルンベルク / 銅板に手彩色	縦 69.0、横 75.3	1	西南学院大学博物館
5	ヨハン・ガブリエル・ ドッペルマイヤー、ヨ ハン・バプティスト・ ホームマン	「内惑星軌道図」 (『百図地図帳』より)	1712 年頃 / ニュルンベルク / 銅板に手彩色	縦 68.5、横 75.5	1	西南学院大学博物館
6	アイザック・ニュートン	『自然哲学の数学的原理』 第 3 巻	1760 年 / ケルン / 書冊	縦 25.0、横 20.0	1	九州大学中央図書館

II-III 世界図の更新						
7	プトレマイオス	『宇宙誌』（複製）	原本 :1472-1473 年 / フィレンツェ / 羊皮紙 に彩色、インク、金 複製 :1984 年 / 岩波書店	複製 : 縦 62.0、横 46.5	1	原本：ヴァチカン図書館蔵 (Urb.Lat.277) 複製：西南学院大学博物館
8	セバスティアン・ミュンスター	「オランダ図」 （『宇宙誌』より）		縦 30.0、横 19.5	3	西南学院大学博物館
		「マルタ島図」 （『宇宙誌』より）	16 世紀後期 / 制作地不詳 / 木版に手彩色	縦 31.5、横 21.0		
		「アルジェ図」 （『宇宙誌』より）		縦 27.0、横 20.0		
9	アブラハム・オルテリウス	「世界地図」 （『世界の舞台』より）	1570 年 / アントウェルペン / 銅板に手彩色	縦 36.2、横 52.2	1	広島県立歴史博物館
II-IV イエズス会士の科学活動						
10	—	『イエズス会学事規定』	1616 年 / ローマ / 書冊、紙に活版・木版	縦 16.6、横 11.8	1	西南学院大学博物館
11	アタナシウス・キルヒャー	「東アジアの地図を持つイエズス会宣教師たち」 （『中国図説』より）	1667 年 / アムステルダム / 紙に銅板	縦 24.5、横 37.5	1	西南学院大学博物館
12	アタナシウス・キルヒャー	「太陽図」 （『地下世界』より）	1665 年 / アムステルダム / 紙に銅板	縦 36.5、横 41.4	1	西南学院大学博物館
13	マクシミリアン・ヘル	『ウィーン天文暦』1774 年版	1774 年 / ウィーン / 書冊	縦 20.5、横 13.0	1	西南学院大学博物館
III 身体という小宇宙						
III-1 人体の観察						
1	ニコロ・レオニチェーノ	『ギリシヤ語からラテン語に翻訳されたガレノスの著作』	1509 年 / フェッラーラ / 紙に活版、インク	縦 31.0、横 22.0	1	九州大学医学図書館
2	ヨハネス・デ・ケタム	「解剖の講義」『医学論集』より	原本 :1495 年 / ヴェネツィア / 紙に活版・木版、手彩 複製 :1978 年 / ヴァイラー＝ジンマーベルク / Editions Medicina Rara	縦 31.2、横 21.7	1	原本：オットー・シェファール美術館 複製：西南学院大学博物館
3	アタナシウス・キルヒャー	『伝染病研究』	1658 年 / ローマ / 書冊	縦 24.6、横 17.5	1	九州大学医学図書館
III-2 身体を中心としての心臓						
4	ピエトロ・ダ・コルトーナ	『解剖学図譜』	1741 年 / ローマ / 書冊、紙に銅板	縦 45.6、横 33.4	1	九州大学医学図書館

関連事業

①特別展関連公開講演会「獣帯人間あわる一天体と身体の照応について」

日 時：2024年11月2日(土) 15:00～16:30(14:30開場)

※大雨の影響により、1時間遅れで開始した。

会 場：西南コミュニティーセンター1階ホール

講 師：藤村拓也 氏(町田市立国際版画美術館学芸員)

司 会：森結(西南学院大学博物館助教・学芸員)

趣旨説明(展示解説)：森結(西南学院大学博物館助教・学芸員)

来場者：32名

②特別展関連ワークショップ「プラネタリウムづくり」

日 時：2024年11月9日(土) 14:00～16:00

会 場：西南コミュニティーセンター2階会議室

参加者：8名

③アンケートプレゼント

期 間：2024年10月21日(月)～12月14日(土)

会期中、来館者アンケートに回答いただいた方に、オリジナルグッズ(クリアファイル)をプレゼントした。



2024年度企画展Ⅰ 研究室訪問シリーズⅤ 「描かれた朝鮮通信使」実施報告

会期：2024年4月8日(月)～6月26日(水)
会場：西南学院大学博物館1階特別展示室・廊下
協力：尹芝恵研究室(西南学院大学国際文化学部) ギャラリー青山
担当：迫田ひなの(学芸研究員)、前田桃花(学芸調査員)

事業内容

本展覧会は研究室訪問シリーズの第5弾として、本学国際文化学部尹芝恵准教授の協力のもと開催された。尹准教授の研究のおもな分析対象である、朝鮮通信使を描いた絵画資料を中心に、朝鮮通信使研究資料や工芸品などを展示した。また、朝鮮通信使のユネスコ「世界の記憶」登録に関する紹介もおこなった。展示作品は一部を除き撮影可能とした。

関連イベントとして、対馬博物館館長・町田一仁氏による公開講演会「絵画記録にみる朝鮮通信使の江戸登城」を開催し、大変盛況であった。また、関連ワークショップとして、プラ板を使った「くずし字でキーホルダーをつくろう!」を開催した。本学における最先端の研究状況を紹介するだけでなく、かつての日朝友好関係を学ぶことによって、現代の日韓関係を見直す契機となるような内容であった。



開催概要

朝鮮通信使は、朝鮮国王からの国書をもたすために、室町時代から江戸時代にかけて来日した使節団である。今日では遠隔地間で情報を伝達する手段に対して用いられる「通信」という言葉だが、当時は単なる音信のやり取りという意味以上に「信(よしみ)を通ずる」、つまり日本と朝鮮が親しい関係を構築するための使節という意味が込められていた。

本展覧会では、尹芝恵研究室(西南学院大学国際文化学部)の協力のもと、朝鮮通信使に関する記録や朝鮮通信使が描かれた絵画作品・工芸作品などを展示する。また、ユネスコ「世界の記憶」登録や尹芝恵研究室の活動を含む、朝鮮通信使をめぐる現代の活動についても紹介する。

協力研究室からのメッセージ

近世の朝鮮通信使は、朝鮮国王が江戸幕府に対して派遣した使節団で、1607年から1811年の間に計12回にわたって来日しました。彼らは日朝外交という政治のための使者であると同時に、学術・芸術・技術などの文化交流を担った存在でもあります。

日韓関係を表現するとき、しばしば「近くて遠い国」という表現が用いられますが、古来交流を重ねてきた日本と韓国の間には、様々な問題が起きました。しかし、それはあくまでも政治的な側面から見た軋轢であり、民間レベルでは良好な関係を築いてきたこともまた紛れもない事実です。今日でもK-POPなどを通して韓国に興味持つようになる人が多くいることを考えると、「近くて遠い国」を理解するためには、まず文化的な交流が必要だということがよく分かります。

この江戸時代の日朝関係に関する展覧会が、皆様のよき学びの場となり、ひいては日韓の歴史に対する理解の一助となれば幸いです。

(西南学院大学国際文化学部国際文化学科 准教授 尹芝恵)

展覧会構成

- I 「信(よしみ)を通ずる」使節
- II 「通信使像」の変遷



■西南学院大学博物館2024年度企画展Ⅰ 研究室訪問シリーズⅤ
「描かれた朝鮮通信使」出品目録

2024 年度西南学院大学博物館企画展Ⅰ 研究室訪問シリーズⅤ

描かれた
朝鮮通信使

7려진 조선통신사

2024.4.8月－6.26水

〈会場〉西南学院大学博物館 1階特別展示室・廊下

主催：西南学院大学博物館 協力：尹芝惠研究室（西南学院大学国際文化学部） ギャラリー青山

＊一部作品をのぞき、展示室内は写真撮影・動画撮影可能です。ただし、フラッシュや三脚を用いての撮影、声を
発しながらの動画撮影はご遠慮ください。撮影禁止マークを表示している作品の撮影はご遠慮ください。
＊作品保護のため、ケースにお手を触れたり、ケースに寄りかかったりしないでください。
＊No. は展示順となっており、展示解説左上の番号と一致しています。
＊パネル展示の情報は、原資料のものを記載しています。

No.	資料名	制作年／制作地／制作者／素材・形態・技法	大きさ（cm）	所蔵
Ⅰ よしみ 「信を通ずる」使節				
1	『海東諸国紀』	原資料：1471（文明3／成宗2）年／朝鮮／申叔舟〔著〕／紙本木版・木活字 複製：韓国／紙本印刷 復刻：1933（昭和8）年／朝鮮史編集会〔編〕／紙本印刷	原資料：縦30.5、横20.7 複製：－ 復刻：縦22.5、横17.4、高さ4.0	原資料：大韓民国国立中央博物館 複製：尹芝惠研究室 復刻：西南学院大学博物館
2	『海游録』	原資料：1719～20（享保4～5／肅宗45～46）年／朝鮮／申維翰〔著〕／紙本墨書 復刻：1974（昭和49）年／平凡社／紙本活版	原資料：縦28.0、横19.5 復刻：－	原資料：大韓民国国立中央図書館 復刻：尹芝惠研究室
3	『日東壯遊歌』	原資料：1763～64（宝暦13～14／英祖39～40）年／朝鮮／金仁謙〔著〕／紙本墨書 復刻：1974年／ソウル（韓国）／韓国学文献研究所〔編〕、亜細亜文化社／紙本印刷	原資料：縦35.5、横22.3 復刻：－	檀国大学校 せきちゅうぜん 石宙善記念博物館 復刻：尹芝惠研究室
4	『大系朝鮮通信使』	1993～96（平成5～8）年／日本／辛基秀・仲尾宏〔編〕、明石書店／紙本印刷，全8冊	－	西南学院大学図書館
5	通信使扇子	2010年代／釜山（韓国）	－	尹芝惠研究室
6	雨森芳洲と朝鮮通信使かるた	2005（平成17）年11月／滋賀県長浜市／平井茂彦〔作〕／箱付，厚紙印刷	－	尹芝惠研究室
7	『ユネスコ「世界の記憶」朝鮮通信使に関する記録』日本所在記録	2020（令和2）年10月15日／日本／NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会・朝鮮通信使ユネスコ連絡部会／紙本印刷	－	尹芝惠研究室
8	『朝鮮通信使に関する記録』韓国版	2018年10月25日／韓国／釜山文化財団／紙本印刷	－	尹芝惠研究室

II 「通信使像」の変遷				
9	朝鮮通信使図 (パネル展示)	江戸時代／日本／制作者不明／紙本著色	縦 44.7、横 57.0	林原美術館
10	朝鮮通信使来朝図 (パネル展示)	1748～1750（寛永元～3／英祖 24～26）年頃／ 日本／羽川藤永／紙本著色	縦 69.7、横 91.2	神戸市立博物館
11	『花洛細見図』十 (部分) (パネル展示)	1704（元禄 17）年／京都／金屋平右衛門〔版〕 紙本木版、彩色（全 15 巻）	縦 26.3、横 18.5	佛教大学図書館
12	見立唐人行列 (パネル展示)	1797～98（寛政 9～10）年／日本／喜多川歌麿 ／大判錦絵 7 枚続	—	アーサー・M・サック ラー美術館
13	唐人文皿 朝鮮通信使船文皿	13-1 唐人文小皿 17 世紀～19 世紀／中国または日本／制作者不詳／ 小皿、染付	口径 12.4、底径 7.0、 高さ 2.0	ギャラリー青山
		13-2 唐人文小皿 17 世紀～19 世紀／中国または日本／制作者不詳／ 小皿、染付	口径 12.4、底径 7.0、 高さ 2.0	
		13-3 唐人文皿 17 世紀～19 世紀／中国または日本／制作者不詳／ 皿、染付	口径 20.2、底径 12.3、高さ 3.3	
		13-4 唐人文皿 17 世紀～19 世紀／中国または日本／制作者不詳／ 皿、色絵	口径 20.0、底径 12.6、高さ 3.7	
		13-5 朝鮮通信使船文皿 17 世紀～19 世紀／中国または日本／制作者不詳／ 皿、色絵	口径 18.1、底径 9.5、 高さ 3.7	
		13-6 唐人文皿 17 世紀～19 世紀／中国または日本／制作者不詳／ 皿、染付	口径 18.3、底径 11.2、高さ 2.0	
14	唐人襖絵	江戸時代か／日本／制作者不詳／紙本著色	縦 40.5、横 32.6	ギャラリー青山
15	『富嶽百景』三編 「来朝の不二」 (パネル展示)	1834（天保 5／純祖 34）年以降／日本／葛飾北斎 ／薄墨摺半紙本	—	国立国会図書館
16	東海道五十三次 絵 本駅路鈴 十四「原」 (パネル展示)	1810（文化 7／純祖 10）年刊行／日本／葛飾北斎 ／木版多色刷	—	国立国会図書館
17	万国人物図会	明治時代／制作地不明／制作者不明／木版	縦 31.7、横 80.8	西南学院大学博物館
18	通信使人形	18-1 沼隈人形（常石張子人形） 現代／広島県沼隈町	—	尹芝恵研究室
		18-2 出雲人形 現代／奈良県桜井市		
		18-3 三春張子人形 現代／福島県郡山市		
19	朝鮮通信使文皿	2005（平成 17）年頃／香蘭社 岐阜工場／香蘭社／ 皿	—	尹芝恵研究室
20	朝鮮通信使文カップ	2005（平成 17）年頃／香蘭社 岐阜工場／香蘭社／ カップ	—	尹芝恵研究室

関連事業

①公開講演会「絵画記録にみる朝鮮通信使の江戸登城」

日 時：2024年5月18日(土) 13時～14時30分(12時30分開場)

会 場：西南コミュニティーセンター1階ホール

講 師：町田一仁 氏(対馬博物館館長)

来場者：52名

②企画展関連ワークショップ「くずし字でキーホルダーをつくろう!」

日 時：2024年5月11日(土)14時～15時

会 場：西南コミュニティーセンター2階会議室

参加者：6名

③アンケートプレゼント

期 間：2024年4月8日(月)～6月26日(水)

会期中、来館者アンケートに回答いただいた方に、オリジナルグッズ(大判ポストカード)をプレゼントした。



2024年度企画展Ⅱ

「創られたキリシタン像(イメージ)

―排耶書・実録・虚構系資料―」実施報告

会期：2024年8月23日(金)～10月5日(土)

会場：西南学院大学博物館1階特別展示室・廊下・常設展示室(日本キリスト教史コーナー)

協力：平戸市生月町博物館・島の館 南島原市教育委員会

担当：鬼束芽依(学芸研究員)

事業内容

本展覧会は、2021年度に開催した「創られたキリシタン像(イメージ)」をもとにして、偽物のキリシタン関係資料「虚構系資料」を多数追加し、構成したものである。全体としては他者からみたキリシタンに対するイメージに焦点を当てた。展示した資料群は三つあり、禁教期における「邪宗徒」や「悪者」というイメージが反映された①排耶書、②実録、大正時代に潜伏キリシタンが発見され、キリシタンブームが起こった結果生み出された③虚構系資料である。特に、虚構系資料については、これまでに偽物として扱われ、展示資料として扱われてこなかった資料を多く出品し、新たに博物館資料としての価値を提示した。

関連イベントとして、公開シンポジウム「明治以降のキリシタンイメージ形成過程とその所産」を開催し、三輪地塩氏（同志社大学神学部准教授）、中園成生氏（平戸市生月町博物館・島の館館長）らに登壇いただいた。キリシタンイメージに関する各分野の研究状況を報告したのち、来場者からの質問に回答しながら、登壇者3名で討論をおこなった。

本展覧会は展覧会図録とともにキリシタン史や文学史研究者を中心に注目され、関連学会やメディア等で取り上げられた。また、特に虚構系資料に関する内容についてはこれまでにない試みであったため、多数の反響があった。



開催概要

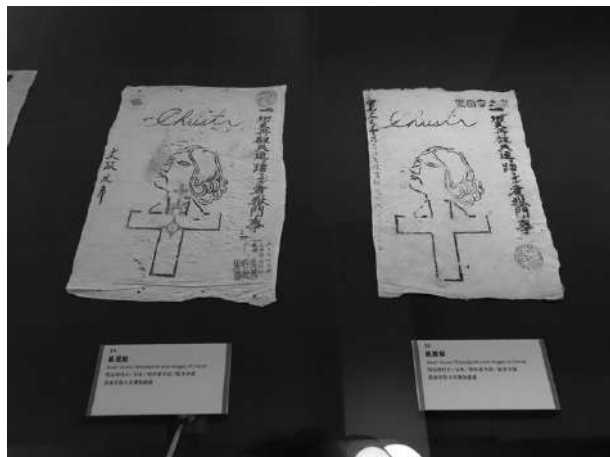
1549(天文18)年の伝来以降、キリスト教は日本各地で発展したが、1587(天正15)年の伴天連追放令からはじまる禁教政策によって衰退していった。そして、江戸時代には脚色を含む排耶書(反キリスト教書)や実録体小説などによって、キリシタンの誤ったイメージが広まっていった。

1865(慶応元)年のいわゆる「信徒発見」により、禁教期にも信仰を保ち続けたキリシタンたちの存在が明らかとなった。その後、キリシタンへの弾圧が一層厳しくなったが、西洋諸国の非難もあり1873(明治6)年に禁教令の高札が撤廃された。こうしてキリスト教の信仰は許されたものの、排耶書の刊行や民衆レベルでの差別はつづいた。大正時代になると、新たなキリシタン遺物の発見などを契機として、キリシタンに対する非学術的な関心が高まり、キリシタン(南蛮)ブームがおこった。キリシタン遺物探さが盛んとなり、日本各地で新しいキリシタン遺物が「発見」されるようになる。

本展覧会は、キリシタンイメージの形成とその所産を表すものとして、「排耶書」「実録」「虚構系資料」という三種の資料群を展示し、近世初期から現代までの変化をたどるものである。

展覧会構成

- 1 排耶書—耶蘇の排斥—
- 2 キリシタン実録—キリシタンイメージの定着—
- 3 虚構系資料 —「発見」されたキリシタン遺物たち—



■西南学院大学博物館2024年度企画展Ⅱ

「創られたキリシタン像(イメージ)—排耶書・実録・虚構系資料—」出品目録

2024 年度西南学院大学博物館企画展Ⅱ

創られたキリシタン像

Fabricated Image of Kirishitan (Christian)
: Antichristian books,
Mockumentary books,
Fictional objects

イメージ

はいやしよ じつろく きょこうけいしりよう
—排耶書・実録・虚構系資料—

会期：2024 年 8 月 23 日（金）～ 10 月 5 日（土）
会場：西南学院大学博物館 1 階特別展示室／廊下
常設展示室（日本キリスト教史展示コーナー）
主催：西南学院大学博物館
協力：平戸市生月町博物館・島の館 南島原市教育委員会

出品目録

*展示室内は写真撮影可能です。ただし、フラッシュや三脚を用いての撮影、動画撮影はご遠慮ください。撮影した写真については、個人利用に限りご使用いただけます。

*作品保護のため、ケースにお手を触れたり、ケースに寄りかかったりしないでください。

*作品 No. は展示解説左上の番号と一致しています。**No.12～19、No.22～39 の作品は、かくれキリシタンの信仰とは関係がありません。**

No.	資料名	制作年／制作地／制作者／素材・形態・技法（原資料情報）	大きさ（cm）	点数	所蔵（原資料所蔵）
Ⅰ はいやしよ やそ 排耶書—「耶穌」の排斥—					
1	はてうす 破提字子	1809（文化 6）年／日本／ハビアン〔著〕／紙本木版、 縦帳	縦 25.7、横 17.6	1	西南学院大学博物館
2	えもん 山田右衛門作白状	江戸時代／日本／制作者不詳／紙本墨書、縦帳	縦 27.2、横 18.0	1	南島原市教育委員会（鈴木秀 三郎コレクション）
3	はきりしたん 破吉利支丹	1662（寛文 2）年／京都／鈴木正山〔撰〕、堤六左衛門 〔刊〕／紙本木版、縦帳	縦 26.8、横 19.0	1	西南学院大学博物館
4	吉利支丹退治物語 （覆刻）	1929（昭和 4）年／日本／稀書複製會／紙本印刷、和 装本（1665〔寛文 5〕年／日本／制作者不詳／紙本木 版、縦帳）、全 3 冊	縦 27.0、横 18.7	1	西南学院大学図書館 （京都大学附属図書館）
Ⅱ キリシタン実録—キリシタンイメージの定着—					
5	切支丹由来実録	1775（安永 4）年／日本／西脇吉蔵〔写〕／紙本墨書、 縦帳	縦 26.2、横 19.1	1	西南学院大学博物館
6	切支丹宗門来朝実記	1798（寛政 10）年／日本／沙門賢盛〔写〕／紙本墨書、 縦帳	縦 24.0、横 17.0	1	西南学院大学博物館
7	切支丹宗門由来記	江戸時代／日本／作者不詳／紙本墨書、縦帳	縦 23.1、横 16.6	1	西南学院大学博物館
8	文政十二己丑歳十二 月五日 切支丹執行 之者御仕置御高札之 写	1829（文政 12）年／日本／制作者不詳／紙本墨書、縦 帳	縦 25.3、横 16.4	1	西南学院大学博物館
9	南蛮寺興廃記（覆刻）	1976（昭和 51）年／日本／鶴久二郎〔刊〕／紙本印刷、 和装本	縦 25.6、横 17.8	1	西南学院大学博物館
10	耶穌一代弁妄記	1874（明治 7）年／日本／田島象二〔著〕・小林永濯〔画〕 ／紙本木版、彩色、縦帳、全 4 冊	縦 22.1、横 14.9	3	西南学院大学博物館
Ⅲ 虚構系資料—「発見」されたキリシタン遺物たち—					
11	嘉永以前西洋輸入品 及参考品目録	1906（明治 39）年／日本／東京帝室博物館（編）／紙 本印刷	縦 22.0、横 14.8	1	西南学院大学博物館
12	仏像付き十字架	1945～1950（昭和 20～25）年頃／愛知県海部郡美 和町／伝 林擁国／鉄	縦 25.3、横 19.5	2	西南学院大学博物館、 平戸市生月町博物館・島の館
13	染付十字文鉢	明治時代以降／日本／制作者不詳／染付、鉢	口径 17.5、高さ 5.8、 底径 11.0	1	西南学院大学博物館
14	染付草花文皿	17 世紀頃／肥前／制作者不詳／染付、皿	口径 20.0、高さ 3.0、 底径 12.9	1	西南学院大学博物館
15	染付十字文壺	明治時代以降／日本／制作者不詳／染付、壺	口径 9.5、高さ 17.8、 底径 8.1	1	西南学院大学博物館

16	染付「まるや」壺	18世紀頃／肥前／制作者不詳／染付、壺	口径 3.4、高さ 25.4、 底径 8.0	1	西南学院大学博物館
17	大黒天像	昭和時代か／日本／制作者不詳／木彫	本体：高さ 8.5、最大 幅 5.0 台座：高さ 2.5、幅 7.0	1	西南学院大学博物館
18	観音像	昭和時代か／日本／制作者不詳／金属	高さ 11.9、最大幅 5.2	1	平戸市生月町博物館・島の館
19	地藏	昭和時代か／日本／制作者不詳／石像	高さ 23.8、最大幅 15.0	1	平戸市生月町博物館・島の館
20	マリア十五玄義図 (複製)	【国指定重要文化財】17世紀初頭／日本、出所：大 阪府茨木市下音羽・原田家／制作者不詳／紙本着色、 額装	縦 73.9、横 60.9	1	西南学院大学博物館 (京都大学総合博物館)
21	聖フランシスコ・ザ ビエル像 (複製)	【国宝・重要文化財 (美術品)】17世紀前半／日本、 出所：大阪府茨木市千提寺・東家／制作者不詳／紙本 着色	縦 61.0、横 48.7	1	西南学院大学博物館 (神戸市立博物館)
22	観音像	20世紀前半頃／徳化窯 (中国) か／制作者不詳／磁器	高さ 17.8、最大幅 9.3	1	西南学院大学博物館
23	観音像	20世紀前半頃／徳化窯 (中国) か／制作者不詳／磁器	高さ 22.5、最大幅 9.3	1	西南学院大学博物館
24	観音像	明治時代～昭和時代前半／制作地不詳／制作者不詳／ 銅	高さ 9.5、最大幅 5.3	1	西南学院大学博物館
25	観音像	明治時代～昭和時代前半／制作地不詳／制作者不詳／ 木製	高さ 23.7、最大幅 10.9	1	西南学院大学博物館
26	観音像 (偽物のマリ ア観音像)	20世紀／中国か／制作者不詳／木彫	高さ 18.7、最大幅 5.5	1	個人蔵
27	魔鏡	明治時代以降／日本／制作者不詳／銅	経 21.0	1	西南学院大学博物館
28	懸仏	明治時代～昭和時代前半／日本／制作者不詳／青銅	径 20.7、鈕 3.1	1	平戸市生月町博物館・島の館
29	十字架と観音像	明治時代～昭和時代前半／日本／制作者不詳／真鍮か	縦 9.4、横 6.0	2	平戸市生月町博物館・島の館
30	キリスト像付き鍋蓋	明治時代～昭和時代前半／日本／制作者不詳／木、石、 真鍮	径 26.4、キリスト像： 径 7.1	1	平戸市生月町博物館・島の館
31	板踏絵 (偽造品)	明治時代後期か／日本／制作者不詳／木、青銅	縦 (最大) 23.3、横 40.4	1	平戸市生月町博物館・島の館
32	板踏絵 (偽造品)	明治時代後期か／日本／制作者不詳／木、真鍮	縦 27.3、横 19.5	1	西南学院大学博物館
33	紙踏絵	明治時代か／日本／制作者不詳／紙本木版	縦 35.0、横 23.0	1	西南学院大学博物館
34	紙踏絵	明治時代か／日本／制作者不詳／紙本木版	縦 35.0、横 25.0	1	西南学院大学博物館
35	紙踏絵	明治時代か／日本／制作者不詳／紙本木版、墨書	縦 37.8、横 52.4	1	平戸市生月町博物館・島の館
36	つば 鐺	制作年不詳／日本／制作者不詳／鉄	径 7.8	1	西南学院大学博物館
		制作年不詳／日本／制作者不詳／鉄	縦 6.9、横 7.5	1	
		江戸時代中期／日本／平戸住國重／真鍮	縦 7.4、横 6.8	1	平戸市生月町博物館・島の館
		制作年不詳／日本／制作者不詳／鉄	縦 7.2、横 7.0	1	
		制作年不詳／日本／制作者不詳／鉄	径 8.0	1	
		制作年不詳／日本／制作者不詳／鉄	径 7.4	1	
37	島の折り	平成時代／熊本県天草地方／制作者不詳／天草灰石	本体：高さ 14.5、最 大幅 6.5 台座：高さ 1.0、幅 8.3	1	西南学院大学博物館
38	エッケ・ホモ (模造 品)	昭和時代か／長崎県雲仙市／制作者不詳／紙粘土に着 色か	縦 11.0、横 7.6、鈕 1.6	1	平戸市生月町博物館・島の館
39	メダイ付きロザリ オ、十字架	20世紀前半／ヨーロッパ／制作者不詳／金属、ガラス	全長 53.0	1	平戸市生月町博物館・島の館
		20世紀前半／フランス／制作者不詳／金属、ガラス	全長 39.0	1	
		20世紀前半／ヨーロッパ／制作者不詳／金属、ガラス	全長 49.1	1	
		20世紀前半／フランス／制作者不詳／金属、ガラス	全長 63.0	1	
		20世紀前半／ヨーロッパ／制作者不詳／真鍮	縦 9.4、横 5.1	3	

関連事業

①公開シンポジウム「明治以降のキリシタンイメージ形成過程とその所産―」

日 時：2024年9月21日(土) 13:00～17:00(12:30開場)

※当初は8月31日(土)開催の予定であったが、台風により延期開催した。

会 場：西南コミュニティーセンター1階ホール

来場者：42名

司 会：森結(西南学院大学博物館学芸員)

開会挨拶：片山隆裕(西南学院大学博物館館長)

主旨説明：鬼束芽依(西南学院大学博物館学芸研究員)

報告

「キリシタン・ブームとキリシタン・イメージの形成」 三輪地塩 氏(同志社大学神学部准教授)

「かくれキリシタン信仰具とその規定条件」 中園成生 氏(平戸市生月町博物館・島の館館長)

「西南学院大学博物館所蔵『魔鏡』は『キリシタン資料』といえるのか？」 鬼束芽依

②アンケートプレゼント

期 間：2024年8月23日(金)～10月5日(土)

会期中、来館者アンケートに回答いただいた方に、オリジナルグッズ(クリアファイル)をプレゼントした。



2024年度テーマ展示実施報告

当館では、2021年度からテーマ展示という新しい枠組みでの展示を開始している。常設展示室の一角やケース数点を使用しておこなう小規模展示である。これらの展示は、学芸員や学芸研究員の監修のもと、基本的には学芸調査員（西南学院大学学部生・大学院生）が主体となって企画をおこなう。展示作品の選定から展示まで学生が主体となっておこなうため、展示の実務研修も目的としている。

2024年度テーマ展示1 特別展関連特集展示「ここまでわかっていた!? 江戸の天文学」

会期：2024年10月21日(月)～12月14日(土)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室(日本キリスト教史展示コーナー)

担当：鬼束芽依(学芸研究員)

本展示では、2024年特別展の関連展示として、江戸の天文学に関する和本資料を展示した。なお、ニュース52号の特集展示も兼ねた。

開催概要

江戸時代はじめ、西洋の書物を自由に読み、西洋の科学を探究することはできませんでした。しかし、享保の改革によって転機が訪れます。1720(享保5)年、江戸幕府8代将軍・徳川吉宗は禁書令を緩和してキリスト教に関係のない書物の輸入を認めました。そして、江戸の天文学が花開いていくことになったのです。

本特集展示では、江戸の天文学に関連する書籍などを展示し、歴史背景と共に解説します。江戸時代の西洋の天文学・科学について「ここまでわかっていた!？」という驚きを感じていただければ幸いです。



2024年度テーマ展示2 「みて!ー工房まる、田村のアトリエ作品展ー」実施報告

会期：2025年1月24日(金)～3月6日(木)

会場：西南学院大学博物館1階特別展示室・廊下

協力：工房まる

担当：庄崎詩香(学芸調査員)、鬼束芽依(学芸研究員)

本展示は、障害福祉サービス事業所 工房まる田村・日佐の田村のアトリエに通所する様々な障がいをもった利用者(以下メンバー)が創り出した作品を31点展示して紹介した。作品は絵画作品から段ボール作品、パネル作品であった。当初は小規模な展示の予定であったが、企画担当者やメンバーの思いを受け、特別展示室1室を使用したこれまでにない規模のテーマ展示となった。展示作品の作者は10名で、作品のキャプションは作者(工房まるの利用者本人)より語られたものをそのまま配置した。また、工房まるの普段の様子を収めた写真をパネルにして紹介した。これらの全作品を撮影可能とした。

テーマ展示関連イベントとして、2日にわたるギャラリートークを開催した。作者による生解説の場、作者と来館者のコミュニケーションの場を当館で作り出した。当日は悪天候にもかかわらず想定以上の来館者が見受けられ、大変盛況であった。



開催概要

「工房まる」が創り出した数々の作品が、西南学院大学博物館にやってきました!

「工房まる」は、絵画や陶芸などの創作活動を軸として、障がい者の自立を目指し活動している障害福祉サービス事業所です。メンバーが創り出す作品はとてもユニークで惹きつけられるものばかりです。本展覧会では、工房まるのメンバーの方々が生み出した作品を紹介し、ユニークな作品の数々とその先にいるメンバー(創作者)たちをより多くの人に知ってもらうことを目的としています。

「作品をきっかけに様々な人やモノと出会い、知り合える機会を作り育もう」とする工房まるの空間を、「作品を通して学びを多くの人に提供する」博物館の空間と掛け合わせ、様々な人が作品との出会いと学びを楽しめる空間になりました。展示室の中では、あえて展示作品の細かい解説文は伏せておきました。まだ見ぬ作品との出会いにドキドキしながらご鑑賞ください。



■西南学院大学博物館2024年度テーマ展示 「みて!—工房まる、田村のアトリエ作品展—」出品目録

2024 年度西南学院大学博物館テーマ展示



—工房まる、田村のアトリエ作品展—

出 品 目 録

会期：2025 年 1 月 24 日（金）～ 3 月 6 日（木）

会場：西南学院大学博物館 1 階特別展示室／廊下

主催：西南学院大学博物館

協力：工房まる 田村のアトリエ

＊展示室内は写真撮影可能です。ただし、フラッシュや三脚を用いての撮影、動画撮影はご遠慮ください。撮影した写真については、個人利用に限りご使用いただけます。

＊作品保護のため、作品やケースにお手を触れたり、ケースに寄りかかったりしないでください。

＊作品 No. は展示解説左上の番号と一致しています。

No.	作品名／パネル名	制作年／制作者／素材・形態	大きさ（cm）	点数	コメント
1	魔法の世界世界ひみつ部屋	2020 年／大隈隆広／ペン、色鉛筆、画用紙、パネル	縦 60.0、横 90.0	1	人知れず魔法をかけられた街パリ。真剣に戦う刀。不思議な魔法の夢の中。パリではなく、誰がいるのかも知らず。3 人の仲間を守るために刀を持って戦います。イメージで描いた世界。見て楽しんでください。
2	メンコリアン（フラメンコ踊る女）	2023 年／宮谷順子／墨、割り箸ペン、水彩絵の具、画用紙	縦 27.0、横 19.0	1	どうだ！！赤いドレス。愛する人を見つけるぞ。私の投げた槍が刺さった人を愛する。それがなかなか見つからない。どこで見つけたらいいの？？私に教えてほしい。
3	カモナベイベー	2023 年／宮谷順子／墨、割り箸ペン、筆、画用紙	縦 27.0、横 19.0	1	ダンスのパートナーを探している。まだ見つからない。寂しいロリネス。みつけた。一緒にいたら笑顔になる愉快な女。ラッキーハピネス。
4	割り箸ペン	—	—	—	作品制作に使われる割り箸を使用したペン。
5	必死	2023 年／宮谷順子／墨、割り箸ペン、水彩絵の具、画用紙	縦 27.0、横 19.0	1	かっこいい演奏者。素敵演奏者。コントラバスってベースなの？低い音が出る楽器ってかっこいい。必死にそして優雅に弾く姿にほれる。「第九」が聞こえてきそう。
6	ダンボールピース	2014 年～現在／水沼海斗／ダンボール、ボスカ	—	—	僕がダンボールに出会ったのは小さい頃にダンボール箱をハサミで解体してワクワクしたときです。ハサミで切ったり、カッターでカットしたりしていろんな形を切り出そうとしました。最初はカットと塗るだけでしたが、今はメンコやキャラクターを作ったりしています。いつかダンボール作品の個展を開いてみんなと作品作りをしたいです。
7	ウミからあがったセイブツ	2024 年／MASAKAZU／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 15.0、横 10.0	1	自分の中から勝手に湧き上がって描いた。イカでもタコでもない。足は 9 本。目は 3 つ。はて、さて。「おれは寝とるんだぞ〜」「ドカンと一発。爆発しよ〜うよ〜（笑）」
8	お父さん、お母さん寝かせて欲しいよ〜	2024 年／MASAKAZU／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 15.0、横 10.0	1	鳥の子供が中に入るとって、「早く出たい！！」と言っている。親鳥は「え〜？もう少し、待ってよ〜！」と言っている。
9	早く家に帰るよ〜	2024 年／MASAKAZU／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 15.0、横 10.0	1	鳥「早く家に帰るよ〜」鳥「はい！！」鳥「待って待って〜お父さん、お母さん。」
10	夕陽の漁船	2024 年／MASAKAZU／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 19.0、横 27.0	1	最初は夜のイカ釣り漁船と海だけやったけど、夕陽を描いて、防波堤も描いて。猫も描いて。そしたら猫が笑ったちゃん。ネコツとね。
11	色鉛筆	—	—	—	色鉛筆をここまで使いきる。その彼女のモノを大事に大切にしている気持ちが現れたモノ。彼女は使い切ったら捨ててしまうけれど、こんなステキな作品捨てるのはもったいない。
12	お花畑	2024 年／佐伯綾香／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	いろんな花をたくさん描いていたらお花畑みたいになりました。花びら一枚、一枚カタチをよくみて描きました。小さい花をまで描くことは大変だったけど、色を塗るのはすごく楽しかったです。
13	ブラハ	2018 年／佐伯綾香／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 38.0、横 27.0	1	珍しい形や色の建物が気に入ってます。夕方から夜になる空。ビル窓の形も窓の明かりもいろいろあっておもしろい。空と明かりの色を楽しんでください。
14	わっしょい わっしょい！！	2022 年／佐伯綾香／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 54.0、横 38.0	1	飾り山を見ると夏が来たなと思います。飾り山の人物や周りの花や装飾など一つ一つ丁寧に表現しました。山笠の華やかで賑やかな雰囲気を感じてもらえたら嬉しいです。
15	山びこが出来るような街	2024 年／佐伯綾香／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 38.0、横 54.0	1	外国の街。屋根はまるかったり、三角だったり、長四角だったりいろんな形がある。私が好きな建物は「ドーム」と呼ばれるらしい。空が広くて山が高く連なっていて、なんだかやまびこができそうな街。
16	百鬼夜行	2024 年／田中豪／ボールペン、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	この中に登場する妖怪たちは僕が考えたオリジナルの妖怪キャラクター。おどろおどろしい感じではなく、楽しそうな感じで描きました。お祭りのようなイメージです。いろんな色、表情の妖怪は 1 匹 1 匹それぞれのキャラクターの個性が出るように描きました。

17	ギガント インペラトル	2024 年 / 田中豪 / ポスカ、色鉛筆、画用紙	縦 38.0、横 27.0	1	僕の頭の中にある空想上の恐竜。体の手足、胴体、頭で鱗の形がそれぞれ違います。これは成長した大人のギガント インペラトルです。
18	トカゲ男	2024 年 / 田中豪 / ダンボール、軍手、アクリル絵の具、割り箸	—	1	ヒーローものに出てくるあんまり強くない怪人「トカゲ男。」昭和風のダサカッコイイ悪者です。必殺技はトサカを外して投げる「トサカカッター」
19	バグ 7	2009 年 / 末次たけし / ペン、色鉛筆、画用紙	縦 24.4、横 35.2	1	" もともと昔から犬が好きで、その中でもぶさかわいいバグが大好きで。 暇があるとバグ動画とか見て楽しんでいました。バグの仕草を見ると、絵にしたいなと思ってきて。気に入った仕草をいろいろと描いていたうちの一つです。バグは周りからも結構人気でさらに描くのが楽しくなって、バグを描き続けているところですよ。バグに名前をつけようと思ったけれど、「バグ」っていう響きが可愛くて、それでよくない？と思っています。これからも「バグ」を可愛がってください。 TAKESHI さんのバグは地下鉄七隈線の歩きスマホを注意喚起する看板にもなっています。"
20	サブールな男たち	2015 年 / 末次たけし / ペン、コピック、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	世界一お洒落なジェントルマンたちは、1 ヶ月の収入をはるかに上回る高級なスーツを身に纏う。「服が汚れるから戦わない」という平和的なメッセージ。こんなカッコ良くこの作品にもメッセージを込めたい。
21	サン・サン	2017 年 / 末次たけし / アクリル、ペン、コピック、画用紙	縦 38.0、横 27.0	1	人物を大きく見せたいと思ってデザインしました。太陽の下で颯爽とお出かけ。カラフルな装いで、ビビットなカラーで明るい夏をイメージ。誰かが振り返ってみってくれたら嬉しいですよ。
22	漫画	2019 年 / 堀博 / G ペン、油性マジック、製図用ペン、修正液、原稿用紙	縦 31.0、横 22.0	1	漫画家を目指しています。コマ割りや文字の量、配置などを考えて描いた思い入れ深い作品です。「ケンカ」が主題の作品で、色々試していたのですが、自分の主観と読む人の客観の認識のずれを把握することがなかなか難しく、考えさせられた作品です。ペンネームは「Fuzzy」。あいまいなという意味で若干曖昧な、森は本名の「ほり」を文字って森としました。
23	セキセイインコ	2024 年 / 堀博 / 水性ペン、蛍光ペン、マジック、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	急性腎不全で緊急入院して、退院して描いた 2 番目の作品です。より太い線で輪郭を取ってみようと思い、描いた作品。いつもは色鉛筆やマジックなどの画材を使って描いていたので、今回は蛍光ペンなど使って着色してみました。色鮮やかなインコたちを表現するのが難しかったが、インコたちが囁いている情景が浮かんできたら嬉しく思います。
24	追いつめられた男	2024 年 / 堀博 / 油性マジック、水性ペン、画用紙	縦 38.0、横 27.0	1	急性腎不全で緊急入院して、退院して描いた一番最初の作品です。下書きせずに、太い線でダイナミックに表現していこうと思って描いた作品。ダイナミックに描こうと思っていたけれど、そう思っているでも実際描いてみると難しいものだなと思い返した作品でした。
25	世界のグルメとたて物（アメリカの仏ぞうとチーズぼんにゅうと中からカレー）	2020 年 / 大成楽 / 水性ペン、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	世界の建物と食べ物です。オーストラリアのドームとお肉はカンガルー。そしてイタリアのトマトソーススパゲティ。僕はチーズフォンジュが一番食べたいから、スイスに行ってみたいです。
26	パンシリーズ（サンドイッチとマルゲリター）	2021 年 / 大成楽 / ペン、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	色々なパンのパンシリーズ。僕が好きなのはサンドイッチ。特にレタサンドが好き。他には焼きそばパン。コンビニのタマゴサンドでしょ。いろいろありすぎて迷いそうです。みんなの好きなパンは何ですか？
27	道シリーズ	2019 年～現在 / 大成楽 / ペン、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	6	2019 年にスタートした大成さんの道シリーズ。天国の世界からスタート。現在作品は 99 枚目を作画中。最後の一つ前は「地獄のミュージアム」と話す大成さん。作品の説明をし始めたら、この道シリーズと同じように終わることのない解説のはじまりです。
28	モナコ公園 F1 グランプリのみどころ	2021 年 / 山中孝志 / ペン、色鉛筆、画用紙	縦 38.0、横 27.0	1	テレビで見た大好きな F1 グランプリ。車の走る姿、エンジン音が聞こえてくるようにリアルに描きました。モナコの街並みと後ろの山々の景色も印象的でした。ここが一番の見どころです！
29	昔の下関と今の下関を橋でつないでみた	2022 年 / 山中孝志 / 水性ペン、クーピー、画用紙	縦 54.0、横 38.0	1	僕の故郷山口。今いる福岡と山口を繋いでいる関門海峡を描こうと思いました。描いているうちに昔の下関、今の門司にイメージが広がり、今と昔を繋いでみようと思いついた作品です。
30	く～た面王の店 仲間と行く	2017 年 / 大隈隆広 / 色鉛筆、鉛筆、ペン、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	僕のお気に入りのラーメン屋さん。とんこつ！みそ！しお！しょうゆ！いろいろな味のラーメンと坦々麺も。僕のおすすめは。アトリエのみんなもラーメンが好き。いつか僕のお気に入りのラーメン屋さんに行こうね！
31	キリンの嵐の中	2021 年 / 大隈隆広 / 鉛筆、色鉛筆、ペン、画用紙	縦 54.0、横 38.0	1	キリンの世界をイメージして描きました。森の中にいるキリンが夕方の竜巻の中を歩いています。葉っぱがたくさん落ちています。嵐の雷にあっているけど、楽しんでいるみたいです。好きな色を使ってカラフルな竜巻にしました。僕はキリンの色が好きです。色は自分で決めています。ゆっくりと自分のペースで絵を描いています。色はいいねいにゆっくりぬっていききました。好きな音楽をききながら描いています。

関連イベント

①ギャラリートーク

日 時：2025年2月1日(土)、2月22日(土) いずれも13:30～14:30

会 場：西南学院大学博物館1階特別展示室

来場者：2月1日(土)31名、2月22日(土)28名

②アンケートプレゼント

期 間：2025年1月24日(金)～3月6日(木)

会期中、来館者アンケートに回答いただいた方に、工房まる田村のアトリエオリジナルグッズ(メモ帳)をプレゼントした。



2024年度博物館ニュース展示 実施報告

概要

毎年度3回発行している「西南学院大学博物館ニュース」において、博物館資料の紹介を目的としたシリーズ「所蔵品紹介」の記事がある。本展示は、「所蔵品紹介」で取り上げられた資料を、博物館ニュースの刊行にあわせて常設展示室にて展示をするものである。

2024年度はニュースの発行を2回に減らし、キリスト教文化から1点、日本キリスト教史から1点の資料を展示した。

博物館ニュース第51号展示

アタナシウス・キルヒャー『地下世界』より「太陽図」

担当者 森結(学芸員)

博物館ニュース第52号展示

『天経或問』

担当者 鬼東芽依(学芸研究員)



1.2 共同連携事業による展示活動

【長崎県南島原市】

2024年度サテライト展示Ⅰ 「博多の伝統工芸とキリスト教」実施報告

会期：2024年4月26日(金)～8月24日(土)

会場：長崎県南島原市原城図書館

主催：西南学院大学博物館

担当：鬼束芽依(学芸研究員)

博多は、古来より東アジアとの文化交流の拠点として栄えてきた。一説によれば、土地が「博(ひろ)」く、人や物が「多」く集まることから「博多」と表記されるようになったという。

そのような博多で豊かな文化交流がおこなわれた結果、さまざまな伝統工芸が花開いた。博多の伝統工芸品として知られる博多人形と博多織は、博多と福岡の風土や歴史のなかで育まれ、私たちのくらしや文化と深いかかわりを持ち続けた。生活に密着しているが故に、それぞれの時期の世相や注文主の意向などが反映され、さまざまな題材をモチーフとした作品が生み出されている。

本展示では、博多の伝統工芸品である博多人形と博多織のなかでも、キリスト教を主題とした作品を展示した。



2024年度サテライト展示Ⅱ 「丸山遊廓の遊女—異国を見た女性たち—」実施報告

会期：2024年8月25日(日)～12月15日(日)

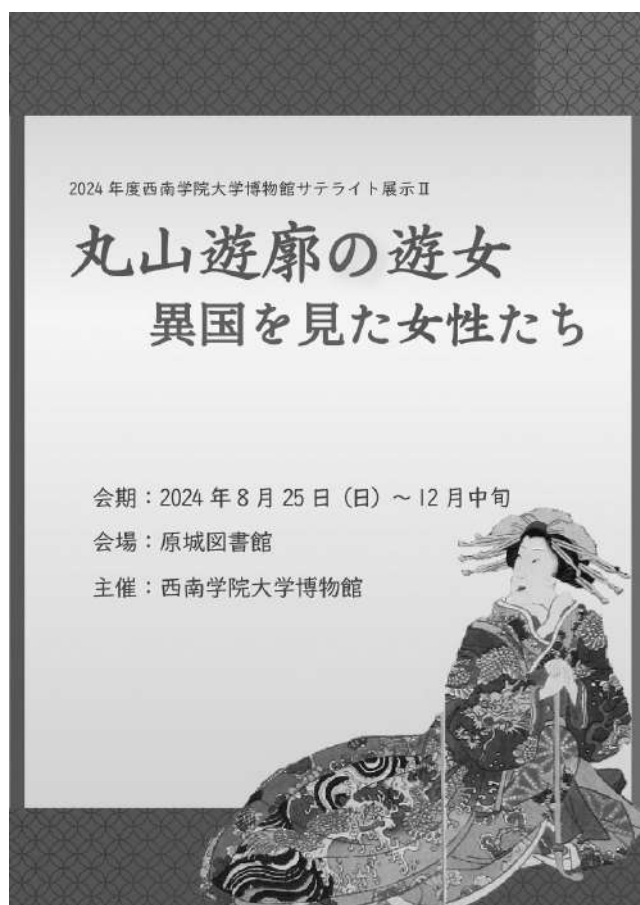
会場：長崎県南島原市原城図書館

主催：西南学院大学博物館

担当：前田桃花(学芸調査員)

長崎の丸山遊廓は、オランダ商館が出島に移転し、鎖国体制が完成した翌年の1642(寛永19)年に開設された。丸山の遊女たちは、出島や唐人屋敷への出入りを許されていた唯一の日本人女性である。すなわち、^{ひょうかく}嫖客は日本人に加え、唐人やオランダ人であった。丸山遊廓やその遊女たちについて記録された版画や文書には、他地域の遊廓ではみられない特殊な慣習や、異国人とともに描かれた遊女たちの姿が確認できる。

本展示では、鎖国下における丸山遊廓の遊女たちが描かれた絵画資料を展示し、異国人との関わりについて紹介した。



2024年度サテライト展示Ⅲ 「元寇防塁—石塁が語る御家人たちの戦い—」実施報告

会期：2024年12月16日(月)～2025年4月20(日)

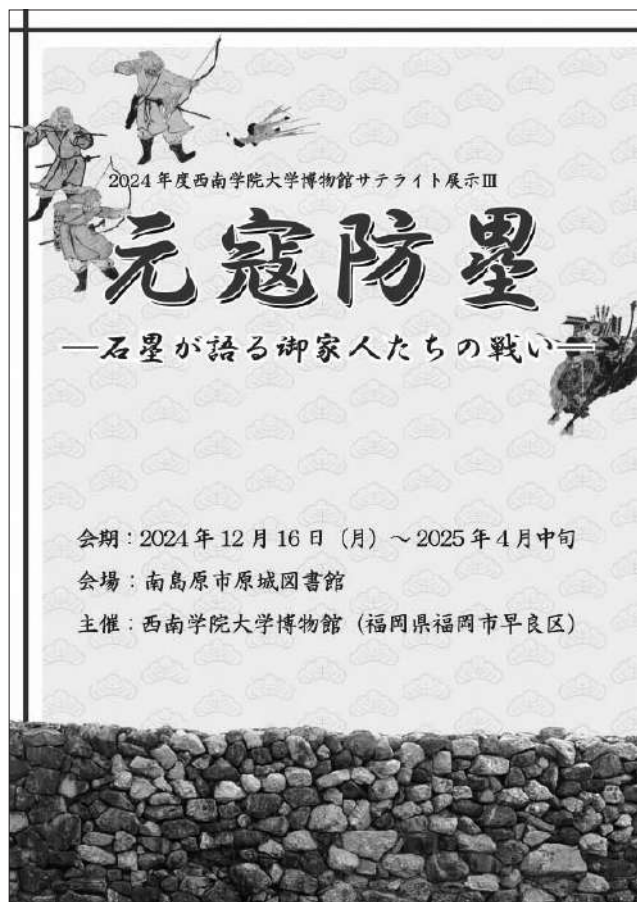
会場：長崎県南島原市原城図書館

主催：西南学院大学博物館

担当：馬場紀聡(学芸調査員)

2024年は文永の役(1274年)からちょうど750年である。福岡市では、記念式典「平和への祈り」(2024年10月20日[日]に紅葉八幡宮で開催)や、モンゴル襲来750年日蒙国際歴史学シンポジウム「モンゴル襲来研究の最前線」(2024年11月8日[金]に九州大学伊都キャンパス稲盛ホールで開催)、元寇750年シンポジウム「蒙古襲来とその遺産 歴史、文化そして未来」(2024年11月30日[土]に福岡市西部地域交流センターさいとびあ多目的ホールで開催)など、元寇750年記念プロジェクトが行われた。西南学院大学のある西新を含めた博多湾沿岸には、元寇防塁が約20kmにわたって築造された。元寇防塁は、文永の役の後、敵の再度の襲来に備え、1276(建治2)年から築造が開始された。この石塁は、750年経った今でも、私たちに戦闘の凄まじさや往時の名残を語るものである。

本展示では、現在、復元・野外展示されているものを3つパネル展示し、福岡市の元寇防塁を紹介した。



令和6年度相互貸借特集展示Ⅰ 「綴る―出征兵士の手紙―」実施報告

会期：2024年7月11日(木)～10月15日(水)

会場：西南学院大学博物館1階ドージャー記念室

主催：南島原市教育委員会

南島原市には、日露戦争や太平洋戦争の際、出征していた兵士の手紙が多く残されている。手紙は母親や友に宛てたもの、特攻隊として最後に残した遺書など、戦争に赴いた人たちの想いがつまった貴重な資料である。

本展示では、口之津兵士の手紙を取り上げ、戦場がどのような場所だったのかを紹介した。



令和6年度相互貸借特集展示Ⅱ 「原城跡発掘調査展 モノ語る」実施報告

会期：2024年10月21日(月)～2025年3月6日(木)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

主催：南島原市教育委員会

1992(平成4)年度から30年間にわたる原城跡発掘調査の結果、十字架やメダイだけではなく、硯や燭台といった日用品や煙管や墓石といった嗜好品が出土している。それはかつて島原半島に暮らした人々の営みと歴史がつまった出土品であり、当時の生活文化が垣間見える発見となった。

本展示では、島原半島内の生活文化を物語る原城跡出土遺物を展示した。



モノ語る

原城跡発掘調査展

令和六年度 南島原市・西南学院大学博物館 相互貸借展示 Ⅱ

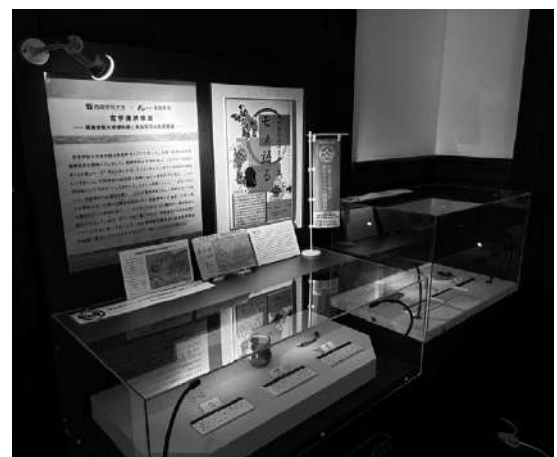
開催概要

平成4年度(1992年)から30年間にわたる原城跡発掘調査の結果、十字架やメダイといったキリシタン出土遺物だけではなく、硯や燭台といった日用品や煙管や墓石といった嗜好品が出土しています。それはかつて島原半島に暮らした人々の営みと歴史がつまった出土品であり、当時の生活文化が垣間見える発見となりました。

本企画展では、島原半島内の生活文化を物語る原城跡出土遺物を展示します。

2024 2025
10.21【Mon.】-1月下旬

会場：西南学院大学博物館
南島原展示ブース



1.2 共同連携事業による展示活動

【國學院大學博物館】

2024年度相互貸借特集展示Ⅰ

「非西欧圏の祈りⅡ 西南学院大学博物館エキスポトコレクション」 実施報告

会期：2024年5月14日(火)～9月23日(月・祝)

会場：國學院大學博物館考古展示室

主催：西南学院大学博物館

担当：鬼束芽依(学芸研究員)

本展示では、「非西欧圏における祈り」というテーマで展示をおこなった。本テーマの第二弾として、メキシコの奉納画「エキスポト(exvoto)」のコレクションを紹介した。奉納画からは、土着信仰とキリスト教信仰という二つの文化が混ざり合った様相を見ることができる。また、メキシコの奉納画を描くのは庶民であるため、素朴な味わいがある。

2024年度 西南学院大学博物館 × 國學院大學博物館 相互貸借特集展示Ⅰ
非西欧圏の祈りⅡ

西南学院大学博物館 EXVOTO RETABLO
エキスポトコレクション

2024年
5月14日～9月23日
(火) (月・祝)

会場：
國學院大學博物館
考古展示室
(〒150-8440 東京都渋谷区東 4-10-28
國學院大學渋谷キャンパス内)

※本展示は、原物館の一角で行う小規模展示です。

▲アタラヘの聖母への奉納画 (20世紀頃、メキシコ)

▲聖フランシスコへの奉納画 (1952年、メキシコ)

主催：西南学院大学博物館

※本展示の内容に関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。
【お問い合わせ】
西南学院大学博物館事務室 〒814-8511 福岡県福岡市早良区西新3丁目13-1
TEL 092-823-4785 FAX 092-823-4785 Mail museum-contact@seinan-gu.ac.jp

西南学院大学 SEINAN COLLEGE UNIVERSITY MUSEUM



2024年度相互貸借特集展示Ⅱ 「非西欧圏の祈りⅢ 西南学院大学博物館フィリピンキリスト教美術コレクション」 実施報告

会期：2024年9月25日(水)～2025年1月26日(日)

会場：國學院大學博物館考古展示室

主催：西南学院大学博物館

担当：鬼束芽依(学芸研究員)

本展示では、前回に引き続き「非西欧圏における祈り」というテーマで展示をおこなった。本テーマの第三弾として、当館が所蔵するフィリピンで制作された聖人像(サント)や聖画を展示した。



2024年度相互貸借特集展示Ⅲ 「ユダイカと旧約聖書の植物—安息日と過越祭—」 実施報告

会期：2025年1月28日(火)～5月25日(日)

会場：國學院大學博物館考古展示室

主催：西南学院大学博物館

担当：栗田りな(学芸調査員)

ユダイカとは、ユダヤ教の祭具等を含む文物の総称であり、優れた美術工芸品を指す言葉でもある。ユダヤの人々は時代によってさまざまな地域に移住しており、多様な素材・形態のユダイカが存在する。そして、旧約聖書に登場する植物が、しばしばユダイカと一緒に香として、食材として、象徴としてなど、様々な用途で用いられている。

本展示では、ユダヤ教の三大祝祭の一つである「過越祭」と、週ごとに行われる「安息日」で用いられるユダイカとともに、旧約聖書の植物を紹介した。



2024年度 西南学院大学博物館 × 國學院大學博物館 相互貸借特集展示Ⅲ

ユダイカと旧約聖書の植物 —安息日と過越祭—

2025年
1月28日(火)～5月25日(日)

会場：國學院大學博物館 考古展示室
※本展示は、博物館の一角で行う小規模展示です。

主催：西南学院大学博物館

*本展示の内容に関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。
【お問い合わせ】
西南学院大学博物館庶務室 〒814-8511 福岡県福岡市早良区西新9丁目10-1
TEL 092-823-4785 FAX 092-823-4785 Mail museum-contact@seinan-gu.ac.jp

■ 西南学院大学 ■ 西南学院大学博物館
SEINAN LAUREL UNIVERSITY MUSEUM



2024年度相互貸借特集展示 「アイヌ民族の交易と工芸」実施報告

会期：2024年6月11日(火)～10月15日(水)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室廊下

主催：國學院大學博物館

北海道周辺の先住民族であるアイヌの人々は、和人や北方諸民族との交流によって独自の文化を営んできた。また、交易によって入手した様々な財を用いて、人間のための道具や、神々と交信するための道具を作ってきた。國學院大學では、金田一京助、久保寺逸彦らによってアイヌ民族研究が拓かれ、北海道短期大学部においてもアイヌ文化継承事業を推進している。本展示では、渡辺紳一郎氏が収集し、水村真理子氏によって寄贈された資料を中心に展示した。



2024年度相互貸借特集展示

「蠟燭と流言の夜－折口信夫が見た関東大震災－」実施報告

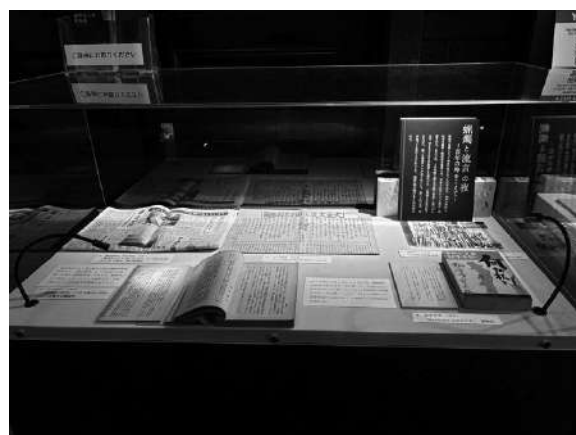
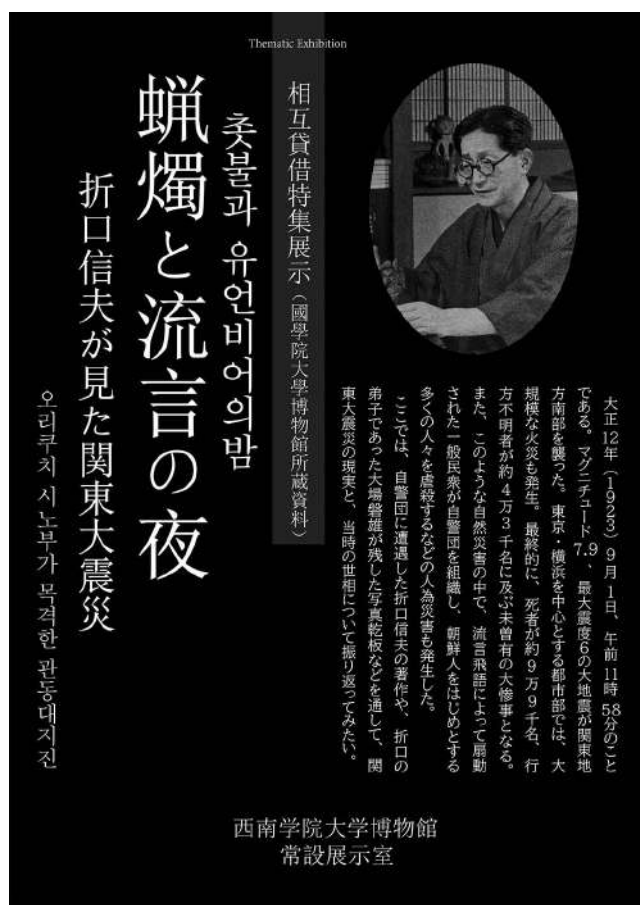
会期：2024年10月21日(月)～2025年3月6日(木)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室廊下

主催：國學院大學博物館

大正12年(1923)9月1日、午前11時58分、マグニチュード7.9、最大震度6の大地震が関東地方南部を襲った。東京・横浜を中心とする都市部では、大規模な火災も発生した。最終的に、死者が約9万9千名、行方不明者が約4万3千名に及ぶ未曾有の大惨事となる。また、このような自然災害の中で、流言飛語によって扇動された一般民衆が自警団を組織し、朝鮮人をはじめとする多くの人々を虐殺するなどの人為災害も発生した。

本展示では、自警団に遭遇した折口信夫の著作や、折口の弟子であった大場磐雄が残した写真乾板などを通して、関東大震災の現実や、当時の世相について振り返った。



2. 教育・研究活動

博物館実習

実習概要

2024年度は実習生6名を受け入れ、2024年9月9日(月)から9月16日(月)まで、計7回にわたって博物館実習を実施した。初日は、午前に施設案内および基礎学習となるオリエンテーションを行い、午後は企画展(博物館実習成果展)の展示計画および企画書の作成を課題とした。実習2日目からは企画展準備作業を指導し(実習5日目のみ日本通運スタッフによる梱包実習を実施)、実習7日目は企画展の設営を行った。博物館1階常設展示室を会場とし、資料の梱包、搬出、搬入、造作等を学芸員指導のもとに行い、設営を完了させた。

【2024年度博物館実習生】

津高真生(神学部神学科)

吉村希美(人間科学部社会福祉学科)

岩尾滯月(国際文化学部国際文化学科)

桶尾柚希(国際文化学部国際文化学科)

坂田百合野(国際文化学部国際文化学科)

江藤堇(外国語学部外国語学科)

【実習風景】



2024年度博物館実習スケジュール

実習担当：森結(博物館教員)

実習日程：9月9日(月)～9月16日(月) 計7回

	9月9日(月)		9月10日(火)		9月11日(水)		9月12日(木)	
午前	10:00	大学博物館集合	10:00	百年館集合	10:00	百年館集合	10:00	百年館集合
	10:10	オリエンテーション	10:10	企画展案決定	10:10	企画展作業②	10:10	企画展作業④
午後	昼食(12:00-13:00)		昼食(12:00-13:00)		昼食(12:00-13:00)		昼食(12:00-13:00)	
	13:00	企画展考案	13:00	進捗報告	13:00	進捗報告	13:00	進捗報告
			13:30	企画展作業①	13:30	企画展作業③	13:30	企画展作業⑤
	16:00	企画会議						
			17:00	進捗報告	17:00	進捗報告	17:00	進捗報告
	17:10	実習日誌作成	17:10	実習日誌作成	17:10	実習日誌作成	17:10	実習日誌作成
	17:30	解散	17:30	解散	17:30	解散	17:30	解散

	9月13日(金)		9月14日(土)		9月16日(月)	
午前	10:00	百年館集合	10:00	百年館集合	10:00	大学博物館集合
	10:10	梱包実習 *日本通運指導	10:10	企画展作業⑥	10:10	企画展設営準備
午後	昼食(12:00-13:00)		昼食(12:00-13:00)		昼食(12:00-13:00)	
	13:00	進捗報告	13:00	企画展作業⑦	13:00	企画展設営
		梱包実習 *日本通運指導				
	17:00	進捗報告	17:00	設営完了	17:00	設営完了
	17:10	実習日誌作成	17:10	実習日誌作成	17:10	実習日誌作成
	17:30	解散	17:30	解散	17:30	解散

2024年度博物館実習成果展 「MARIA COLLECTION マリコレ —世界の信者はマリアをどう描いたのか—」実施報告

会期：2024年9月17日(火)～2025年1月11日(土)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

2024年度博物館実習成果展では、西南学院大学博物館が所蔵する資料を実習生が選別し、常設展示室内で企画展示を行った。実習生自ら、テーマを設定し、開催概要、キャプション、解説パネル、ポスター等の作成を行った。



開催概要

イエス・キリストの母として知られる聖母マリア。彼女はキリスト教の布教に伴い、絵画や彫像という形で世界各地で表現されてきました。それぞれの国、それぞれの教派によって、聖母マリアの表現が異なります。

本展示を通して聖母マリアの芸術を楽しんでいただき、同時に聖母マリアについて学ぶきっかけとなれば幸いです。



2024年度せいなんワークショップ概要

2024年度は、昨年度に引き続き対面でのワークショップと、各種SNS投稿による教育活動の拡充を行った。加えて、季節ごとのイベントを充実させることでさらなる集客と教育活動の拡充を図った。また7月には、初の試みである留学生を対象としたワークショップを開催し、好評を得た。

▶せいなんワークショップ

①イースター・ワークショップ(常設型)

日時：2024年4月1日(月)～4月4日(木)

会場：西南学院大学博物館1階エントランス

上記期間中、1階玄関にチョコレートが入った卵型のカプセル、ペンやマスキングテープを設置し、自由にデコレーションを行った。



②くずし字でキーホルダーをつくろう!

日時：2024年5月11日(土) 14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

企画展「描かれた朝鮮通信使」の関連ワークショップとして、展覧会会期中に開催した。くずし字について簡単な解説を行った後、それぞれが希望した文字をくずし字にしたものをプラバンの上からなぞってくずし字キーホルダーを制作した。

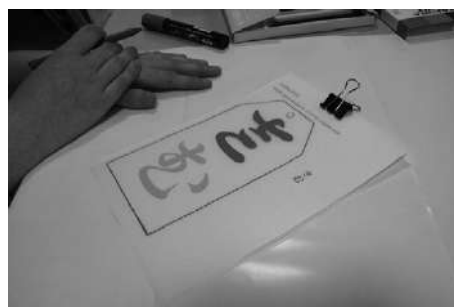


③くずし字キーホルダーづくり(留学生別科)

日時：2024年5月11日(土) 14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

留学生別科の授業の一環として開催した。日本語と英語でくずし字について簡単な解説を行った後、それぞれが希望した文字をくずし字にしたものをプラバンの上からなぞってくずし字キーホルダーを制作した。



④テラコッタねんどではにわづくり

日時：2024年8月6日(火) 午前の部:10:00～12:00 午後の部:14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

はにわについて簡単に説明を行った後、テラコッタねんどを使って各々が自分の好きなはにわを制作した。



⑤プラネタリウムづくり

日時：2024年11月9日(土) 14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

特別展「知のアトラス—宇宙をめぐる教会と科学の歴史—」の関連ワークショップとして、展覧会会期中に開催した。創世記で星が作られたシーンやマタイ福音書で博士たちが星を追ってきたシーンなど、聖書のなかの星にまつわる話の解説を行った後、プラネタリウムを制作した。



⑥かぼちゃとジョージくんをさがせ!(常設型)

日時：2024年10月1日(火)～10月31日(木)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室・ドージャー記念室・常設展示室廊下

上記期間中、常設展示室・ドージャー記念室・廊下にかぼちゃと当館のマスコットキャラクター、ジョージくんのパネルを設置し、その数を当てるワークシートを配布した。回答後のワークシートは事務室にて答え合わせをしたのち、かぼちゃとジョージくんの数を当てた参加者には、景品(キーホルダー)を進呈した。



⑤クリスマスツリーを飾ろう(常設型)

日時：2024 年11月25日(月)～2025年1月6日(月)

会場：西南学院大学博物館1階エントランス

エントランスに設置したクリスマスツリーのボードに、マスキングテープで自由にデコレーションしたオーナメントを飾り付けた。



⑥カリグラフィでクリスマスカードづくり

日時：2024年12月21日(土) 14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

クリスマス(キリスト降誕)に関する作品の絵解きをした後、カリグラフィペンを使用して「Merry Christmas」を練習し、カードに清書した。また、清書した後、金箔やシールなどで飾り付けをおこなった。



⑦バレンタイン企画

大切な人にメッセージを贈ろう(常設型)

日時：2025年2月14日(金)～2月21日(金)

会場：西南学院大学博物館1階エントランス

聖ヴァレンティヌスについての紹介パネルを作成して、廊下のパーティーションに掲示した。また、メッセージカードと色鉛筆、マスキングテープを設置し、自由にデコレーションを行った。



⑧聖書植物でしおりづくり

日時：2025年3月8日(土)14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

本学に点在する聖書植物園やワークショップで使用する聖書植物について簡単に解説したのち、当館周辺に植わっている聖書植物「ミルトス」「マンドレイク」「イナゴマメ」について5分程度実際に見て回りながら解説を行った。その後、聖書植物の押し花を使用して、好きなしおりを2つ制作した。



▶せいなんおでかけワークショップ

官学連携を行っている長崎県南島原市で行った出張ワークショップである。今年度は2回、2か所にわたってワークショップを行った。

「くずし字キーホルダーづくり」

①日時：2024年8月24日(土)10:15～11:30

会場：長崎県南島原市原城図書館

②日時：2024年8月24日(土)13:30～14:30

会場：長崎県南島原市口之津図書館

当館スタッフより、くずし字について簡単な解説を行った後、それぞれが希望した文字をくずし字にしたものをプラバンの上からなぞってくずし字キーホルダーを制作した。



▶Youtube(西南学院大学博物館チャンネル)

①|101|<2024年度西南学院大学博物館企画展Ⅱの紹介だよ～♪

公開：2024年6月24日(月)

2024年度西南学院大学博物館企画展Ⅱ「創られたキリシタン像(イメージ)―排耶書・実録・虚構系資料―」の紹介動画。展示担当者の監修のもと制作した。



②2024年度特別展関連公開講演会「獣帯人間あらわる—天体と身体の照応について—」

(2024年11月2日)

公開：2024年12月2日(月)

2024年11月2日に開催された、西南学院大学博物館特別展「知のアトラス—宇宙をめぐる教会と科学の歴史—」の関連公開講演会の記録動画である。講師は、町田市国際版画美術館学芸員の藤村拓也氏。展示担当者の監修のもと制作した。



▶X(旧Twitter)(@seinan_museum)

①企画展「研究室訪問シリーズⅤ 描かれた朝鮮通信使—」資料紹介

期間：2024年4月15日(月)～5月28日(火)全7回

2024年度に開催した企画展「研究室訪問シリーズⅤ 描かれた朝鮮通信使—」の資料紹介である。会期中、不定期に投稿した。Instagramにも同内容を同日掲載した。



②企画展「創られたキリシタン像(イメージ)—

—排耶書・実録・虚構系資料—」資料紹介

期間：2024年9月6日(金)～9月24日(火)全7回

2024年度に開催した企画展「創られたキリシタン像(イメージ)—排耶書・実録・虚構系資料—」の資料紹介である。会期中、不定期に投稿した。Instagramにも同内容を同日掲載した。



③テーマ展示「みて!—工房まる、田村のアトリエ作品展」作者紹介

期間：2025年1月27日(月)～2月27日(木)全10回

2024年度に開催したテーマ展示「みて!—工房まる、田村のアトリエ作品展」の作者紹介である。会期中、3日おきに投稿した。Instagramにも同内容を同日掲載した。



④聖書植物紹介

期間：2024年6月5日(水)～6月17日(月)全4回

博物館周辺に生育しているものを中心に、聖書植物を紹介した。上記期間中、不定期に投稿した。Instagramにも同内容を同日掲載した。



▶Instagram(@seinan_museum)

①企画展「研究室訪問シリーズⅤ 描かれた朝鮮通信使—」 資料紹介

期間：2024年4月15日(月)～5月28日(火)全7回

2024年度に開催した企画展「研究室訪問シリーズⅤ 描かれた朝鮮通信使—」の資料紹介である。会期中、不定期に投稿した。X(旧Twitter)と同内容のものに、ハッシュタグを追加して掲載した。



②企画展「創られたキリシタン像(イメージ)

—排耶書・実録・虚構系資料—資料紹介

期間：2024年9月6日(金)～9月24日(火)全7回

2024年度に開催した企画展「創られたキリシタン像(イメージ)—排耶書・実録・虚構系資料—」の資料紹介である。会期中、不定期に投稿した。X(旧Twitter)と同内容のものに、ハッシュタグを追加して掲載した。



③テーマ展示「みて!—工房まる、田村のアトリエ作品展」

作者紹介

期間：2025年1月27日(月)～2月27日(木)全10回

2024年度に開催したテーマ展示「みて!—工房まる、田村のアトリエ作品展」の作者紹介である。会期中、3日おきに投稿した。X(旧Twitter)と同内容のものに、ハッシュタグを追加して掲載した。



④聖書植物紹介

期間：2024年6月5日(水)～6月17日(月)全4回

博物館周辺に生育しているものを中心に、聖書植物を紹介した。上記期間中、不定期に投稿した。X(旧Twitter)と同内容のものに、ハッシュタグを追加して掲載した。



博物館刊行物・成果物

2024年度 西南学院大学博物館 特別展図録

B5判変型

72頁

2024年10月31日刊行

編者 森結



目次	
ご挨拶	
西南学院大学博物館館長 片山隆裕	2
開催概要／凡例	4
第1章 宇宙の中心としての地球	5
第1節 古代の宇宙像	6
第2節 宇宙と人体の照応 天文学と占星術のあわい	10
【コラム】中世の宇宙像における風の表象	
沖縄県立芸術大学美術工学部教授 尾形希和子	17
第3節 中世の宇宙像とダンテ『神曲』	18
【コラム】ダンテの地獄・煉獄・天国の絵画化	
学習院大学文学部教授 京谷啓徳	22
第2章 地球は動く——教会と科学	23
第1節 天動説から地動説へ	24
【コラム】地動説と教会	
西南学院大学博物館助教・学芸員 森結	29
第2節 世界図の刷新	38
【コラム】コスモグラフィア革命とアトラス(地図集)の誕生	
西南学院大学博物館助教・学芸員 森結	43
第3節 イエズス会士の科学活動	46
【コラム】イエズス会士とガリレオ	
西南学院大学博物館助教・学芸員 森結	51
【コラム】江戸の天文学ことはじめ	
西南学院大学博物館学芸研究員 鬼束芽衣	54
第3章 身体という小宇宙	55
第1節 人体の観察	56
【コラム】イエズス会士アタナシウス・キルヒャーにおける宗教と科学	
西南学院大学博物館助教・学芸員 森結	61
第2節 身体を中心としての心臓	62
論考	
獣帯人間と仲間たち 天体と身体の照応についての覚書	
町田市立国際版画美術館学芸員 藤村拓也	65
主要参考文献	70
出品目録	71

2024年度 西南学院大学博物館 企画展図録

B5判変型

64頁

2024年8月23日刊行

編者 鬼束芽依



目次	
ご挨拶	
西南学院大学博物館館長 片山隆裕	
福岡県立図書館館長 池松峰男	2
開催概要／謝辞／凡例	4
I 排耶書「耶蘇」の排斥	5
江戸時代初期の排耶書	6
島原・天草一揆の影響	7
排耶書の変化	9
【コラム】『吉利支丹物語』に記された「邪教」感	
順天堂大学スポーツ健康科学部准教授 杉山和也	12
II キリシタン実録 キリシタンイメージの定着	13
キリシタン実録とその内容	14
【コラム】キリシタンの幻術の表と裏 『切支丹宗門来朝実記』から	
立教大学名誉教授 小峰和明	17
【コラム】江戸後期の「切支丹」摘発事件	
西南学院大学博物館学芸調査員 前田桃花	18
江戸時代末・明治時代の排耶運動	19
仏僧による排耶論	20
III 虚構系資料 「発見」されたキリシタン遺物たち	23
「嘉永以前西洋輸入品及参考品」に出品された「耶蘇教遺物」	24
キリシタン遺物の新発見	26
キリシタンブームと虚構系資料の登場	27
十字文様	28
従来の神仏像・仏具の改変	30
「マリア観音」をめぐる問題	32
踏絵の偽造品	36
南蛮鐺(キリシタン鐺)	38
お土産品／近現代の信仰具	39
【コラム】虚構系かくれキリシタン信仰資料の問題	
平戸市生月町博物館・島の館館長 中園成生	40
【コラム】虚構系資料の展示について	
西南学院大学博物館学芸研究員 鬼束芽衣	41
魔鏡の復元／おわりに——「創られたキリシタン像」が語るもの	42
Abstract	43
出品目録	44
主要参考文献	46

論考

キリシタン研究の発展とキリシタン資料・遺物の「発見」史	
同志社大学神学部准教授 三輪地塩	48
筑前山家宿の「キリシタン伝説」と吉原勝	
西南学院大学国際文化学部教授 伊藤慎二	52
南島原市深江町のいわゆる「かくれキリシタン」墓標についての検討	
西南学院大学博物館学芸調査員 馬場紀	56
西南学院大学博物館蔵「魔鏡」は「かくれキリシタン資料」といえるのか？	
西南学院大学博物館学芸研究員 鬼束芽衣	60

西南学院大学 博物館研究紀要 第13号

A4判
80頁
2025年3月20日発行



目次

— 論 文 —

授業教材としての『鬼滅の刃』—試論—	片山 隆裕	3
--------------------	-------	---

アオテアロア・ニュージーランドの博物館都市 ダニーデン(Dunedin)	伊藤 慎二	17
--------------------------------------	-------	----

南島原市深江町のいわゆる「かくれキリシタン」墓標についての検討	馬場 紀聡	49
---------------------------------	-------	----

— 資料紹介 —

西南学院大学博物館所蔵のキリシタン関係虚構系資料について	鬼束 芽依	61
------------------------------	-------	----

西南学院大学 博物館年報 第16号

A4判
64頁
2024年10月1日発行



目次

巻頭言	3
-----	---

2022年度事業報告

1. 展示活動	
1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動	
2023年度特別展	
「戦争と学院—戦時下を生き抜いた福岡のキリスト教主義学校—」実施報告	5
2023年度企画展	
「シーボルト来日200周年記念 シーボルトと近世の蘭学者たち」実施報告	10
2023年度常設展示室テーマ展示 実施報告	15
2023年度常設展示室博物館ニュース展示 実施報告	18

1.2 共同・連携事業による展示活動	
【南島原市】産官学連携サテライト展示・相互貸借特集展示 実施報告	19
【國學院大学博物館】相互貸借特集展示 実施報告	24

2. 教育・研究活

博物館実習	27
2023年度博物館実習成果展	30
せいなんワークショップ概要	32
博物館刊行物・成果物	39
博物館教職員活動記録	42

3. 来館者動向

来館者統計	45
特別展期間中来館者動向	46
来館団体一覧	47

4. その他

メディア掲載一覧	48
寄贈図書一覧	48
博物館規程	53
西南学院大学博物館組織	63

企画展「描かれた朝鮮通信使」リーフレット
【12000部発行 発行日2024年4月8日】



博物館ニュース Volume.51
【1500部発行 発行日2024年6月15日】



企画展:「創られたキリシタン像(イメージ)—排耶書・実録・虚構系資料—」
新所蔵品紹介:アタナシウス・キルヒャー「地下世界」(1655年)より「太陽図」
常設作品紹介:「リンディスファーン福音書」(複製)
大学博物館のお仕事⑦:ワークショップ企画と運営について

博物館ニュース Volume.52
【1500部発行 発行日2024年9月30日】



特別展「知のアトラス—宇宙をめぐる教会と科学の歴史」
新所蔵品紹介:「天経感問」
常設作品紹介:《全能者キリスト》
大学博物館のお仕事⑦「資料の調査研究」
博物館通信:テーマ展示「楽譜とことば—祈りの歌のカケラたち」 ほか

博物館教職員活動記録

片山隆裕（本学博物館長・国際文化学部教授）

【論文】

- ・「授業教材としての「鬼滅の刃」一試論」（『西南学院大学博物館研究紀要』第13号、2025年3月）

【講座】

- ・タイ王国・シラチャ日本人学校における講演「アジア太平洋戦争と泰緬鉄道—タイ国カンチャナブリ」（オンライン、2024年7月23日）
- ・西南コミュニティーカレッジ「世界の歴史と文化を探访する—博物館展示の語りかけるもの—」第2回「アジア太平洋戦争期の日タイ関係—タイ国カンチャナブリ県の戦争博物館展示が語るもの」（西南コミュニティーセンター、2024年11月14日）

【その他】

- ・「大学の顔」としての博物館—博物館と関わってきた40余年の経験から思うこと（『西南学院アーカイブズ』第3号、西南学院史資料センター、2025年3月）
- ・「だいがくのたから」（『大学時報』No.421、日本私立大学連盟、2025年3月）

森 結（本学博物館教員（助教・学芸員））

【著書】

- ・『知のアトラス—宇宙をめぐる教会と科学の歴史』（花乱社、2024年11月）

【MISC】

- ・「西洋美術史を専攻してその後」（松尾金藏記念奨学基金論文集『明日へ翔ぶ』8、風間書房、2025年）

【解説】

- ・「新収蔵品紹介 アタナシウス・キルヒャー「太陽図」『地下世界』（1665年）」（『西南学院大学博物館ニュースVol.51』、2024年6月）

【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「聖堂の中の美術」第1回「反教皇派をめぐる町の抗争とその贖罪：オルヴィエート大聖堂サン・ブリツィオ礼拝堂装飾」（西南コミュニティーセンター、2024年6月28日）
- ・西南コミュニティーカレッジ「聖堂の中の美術」第5回「彷徨う祭壇画：ナポレオンの美術品接収の功罪とルカ・シニョレツリ作《フィリッピーニ祭壇画》」（西南コミュニティーセンター、2024年7月26日）
- ・西南コミュニティーカレッジ「世界の歴史と文化を探访する—博物館展示の語りかけるもの—」第1回「イタリア・フィレンツェにおける自然科学の探究と博物館」（西南コミュニティーセンター、2024年11月7日）

【社会貢献活動】

- ・企画「2024年度 西南学院大学博物館特別展 知のアトラス—宇宙をめぐる教会と科学の歴史」（西南学院大学博物館1階特別展示室・ドージャー記念室、2024年10月21日～12月14日）
- ・出演「【生配信】知のアトラス展の秘密!? 仕掛け人・森結さん登場!」（BHチャンネル、2025年1月19日）

鬼束芽依（本学博物館学芸研究員・本学非常勤講師）

【著書】

- ・『創られたキリシタン像〈イメージ〉：排耶書・実録・虚構系資料』（花乱社、2024年8月）

【論文】

- ・「西南学院大学博物館蔵「魔鏡」は「キリシタン資料」といえるのか？」（『創られたキリシタン像：排耶書・実録・虚構系資料』2024年8月）
- ・「西南学院大学博物館所蔵のキリシタン関係虚構系資料について」（『西南学院大学博物館研究紀要』第13号、2025年3月）

【解説】

- ・「虚構系資料の展示について」（『創られたキリシタン像：排耶書・実録・虚構系資料』花乱社、2024年8月）
- ・「江戸の天文学ことはじめ」（『知のアトラス—宇宙をめぐる教会と科学の歴史』花乱社、2024年11月）
- ・「新収蔵品紹介『天経或問』」（『西南学院大学博物館ニュース』Vol.52、2024年9月）
- ・「近世日本社会におけるフラスコ形ワインボトルの流通状況」（『江戸遺跡研究』第12号、2025年3月）

【口頭発表】

- ・「近世日本社会におけるフラスコ形ワインボトルの流通状況」（江戸遺跡研究会第190回特別例会、東京大学本郷キャンパス国際学術総合研究棟1F文学部3大教室、2024年7月27日）
- ・「西南学院大学博物館所蔵『魔鏡』は『キリシタン資料』といえるのか？」（2024年度西南学院大学博物館企画展関連公開シンポジウム「明治以降のキリシタンイメージ形成過程とその所産—」、西南コミュニティセンター、2024年9月21日）

【講座】

- ・西南コミュニティカレッジ「ミュージアムを楽しもう！ Part2 ～大学博物館・美術館編～」(西南コミュニティセンター、2024年9月30日～11月11日)
- ・西南コミュニティカレッジ「世界の歴史と文化を探訪する—博物館展示の語りかけるもの—」第3回「江戸時代の豊かな国際交流—オランダのミュージアムで見た日本—」(西南コミュニティセンター、2024年11月21日)

【社会貢献活動】

- ・企画「2024年度西南学院大学博物館サテライト展示I 博多の伝統工芸とキリスト教」(南島原市原城図書館、2024年4月26日～8月24日)
- ・企画「2024年度 西南学院大学博物館企画展Ⅱ 創られたキリシタン像(イメージ)—排耶書・実録・虚構系資料—」(西南学院大学博物館1階特別展示室・廊下、2024年8月23日～2024年10月5日)
- ・企画「2024年度 西南学院大学博物館×國學院大學博物館 相互貸借特集展示I 非西欧圏における祈りⅡ 西南学院大学博物館エキスポコレクション」(國學院大學博物館、2024年5月14日～9月23日)
- ・企画「2024年度 西南学院大学博物館×國學院大學博物館 相互貸借特集展示II 非西欧圏における祈りⅢ 西南学院大学博物館フィリピンキリスト教美術コレクション」(國學院大學博物館、2024年9月25日～2025年1月26日)

馬場紀聡（本学博物館学芸調査員）

【論文】

- ・「南島原市深江町のいわゆる「かくれキリシタン」墓標についての検討」（『創られたキリシタン像：排耶書・実録・虚構系資料』2024年8月）
- ・「南島原市深江町のいわゆる「かくれキリシタン」墓標についての検討」（『西南学院大学博物館研究紀要』第13号、2025年3月）

【解説】

- ・「元寇防塁—石塁が語る御家人たちの戦い—」（2024年度 西南学院大学博物館×南島原市サテライト展示III展示解説リーフレット、2024年12月）

【社会貢献活動】

- ・企画「2024年度 西南学院大学博物館×南島原市サテライト展示III 元寇防塁—石塁が語る御家人たちの戦い—」（南島原市原城図書館、2024年12月16日～2025年4月20日）

前田桃花（本学博物館学芸調査員）

【解説】

- ・「江戸後期の「切支丹」摘発事件」（鬼東芽依編『創られたキリシタン像（イメージ）—排耶書・実録・虚構系資料—』、花乱社、2024年8月）
- ・「丸山遊廓の遊女—異国を見た女性たち—」（2024年度 西南学院大学博物館×南島原市サテライト展示II展示解説リーフレット、2024年8月）

【社会貢献活動】

- ・企画「2024年度 西南学院大学博物館×南島原市サテライト展示II 丸山遊廓の遊女—異国を見た女性たち—」（長崎県南島原市原城図書館、2024年8月25日～12月15日）

栗田りな（本学博物館学芸調査員）

【解説】

- ・「常設展展示紹介 リンデイスファーン福音書（複製）」（『西南学院大学博物館ニュース』Vol.51、2024年6月）

【社会貢献活動】

- ・企画「2024年度 西南学院大学博物館×國學院大學博物館 相互貸借特集展示II ジュダイカと旧約聖書の植物—安息日と過越祭—」（國學院大學博物館、2025年1月28日～4月25日）

庄崎詩香（本学博物館学芸調査員）

【解説】

- ・「常設展展示紹介 全能者キリスト」（『西南学院大学博物館ニュース』Vol.52、2024年9月）

【社会貢献活動】

- ・企画「2024年度テーマ展示 みて！—工房まる、田村のアトリエ作品展—」（西南学院大学博物館1階廊下・特別展示室、2025年1月24日～3月6日）

松尾優里（本学博物館学芸調査員）

【社会貢献活動】

- ・企画「2024年度テーマ展示 宗教と香り——ユダヤ人の儀礼と生活」（常設展示室、2025年3月8日～3月末）

大番 島（本学博物館学芸調査員）

【社会貢献活動】

- ・企画「2024年度テーマ展示 宗教と香り——ユダヤ人の儀礼と生活」（常設展示室、2025年3月8日～3月末）

柳川桜子（本学博物館学芸調査員）

【社会貢献活動】

- ・企画「2024年度テーマ展示 宗教と香り——ユダヤ人の儀礼と生活」（常設展示室、2025年3月8日～3月末）

3. 来館者動向

来館者統計

開館以来来館者数 179,881人
2024年度来館者数 4978人

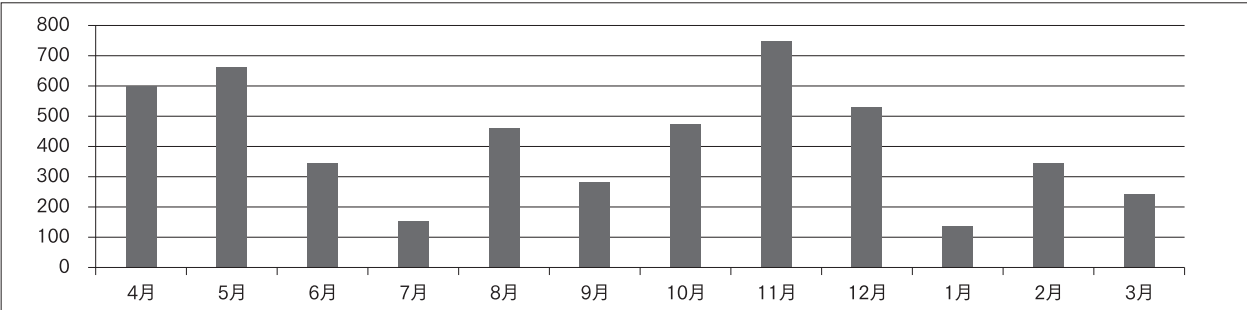
2006～2021年度来館者数 170957人
前年度人数 3946人（前年度比 126％）

■2024年度来館者統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数		24	27	23	27	22	25	23	26	22	22	24	24	289
学内	教職員	16	10	11	2	2	7	27	6	13	2	0	8	104
	本学学生	237	242	75	36	7	23	165	239	156	2	11	20	1213
	学内小計	253	252	86	38	9	30	192	245	169	4	11	28	1317
学外	大人(一般)	136	340	228	104	204	234	187	354	220	125	280	210	2622
	他大学生	7	55	8	5	4	19	9	71	10	6	16	12	222
	高校生	2	6	3	1	236	2	1	8	3	1	6	2	271
	中学生	200	10	4	2	3	1	91	16	118	0	2	6	453
	小学生	1	12	4	6	2	2	5	6	4	1	11	5	59
	幼児	0	2	3	2		2	1	32	2	1	8	7	60
	学外小計	346	425	250	120	449	260	294	487	357	134	323	242	3687
海外居住者		7	35	16	54	24	15	6	34	32	33	79	43	378
男女比	男性	121	174	88	66	163	98	145	182	90	68	138	85	1418
	女性	136	157	131	58	155	105	156	286	121	51	120	78	1554
	不明	343	346	117	34	148	82	185	264	315	19	76	77	2006
合計		600	677	336	158	466	285	486	732	526	138	334	240	4978

■月別来館者数(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
600	677	336	158	466	285	486	732	526	138	334	240



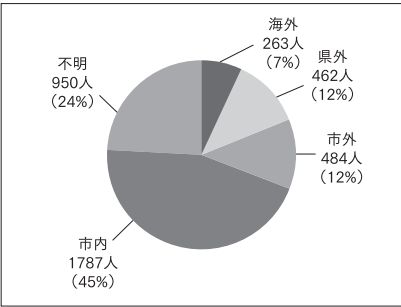
■月別開館日数(単位:日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24	27	23	27	22	25	23	26	22	22	24	24	289

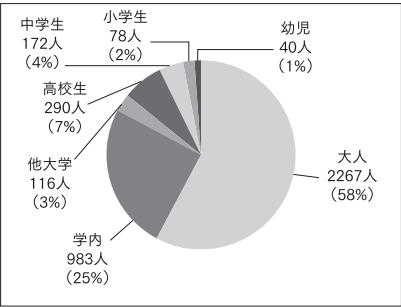
■月別1日あたり平均来館者数(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	27	24	5	21	11	21	28		6	13	10	14

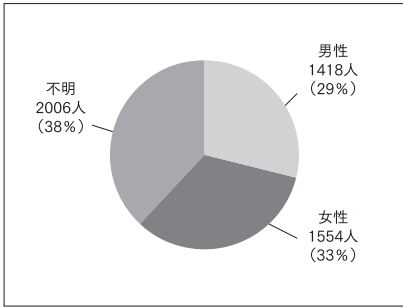
■年間居住地別



■年間年代比



■年間男女比



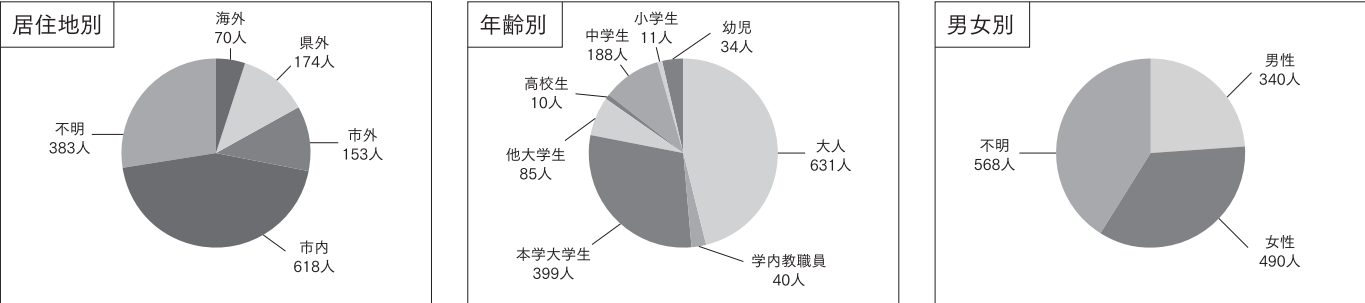
特別展期間中来館者動向

特別展

西南学院大学博物館2024年秋季特別展

「知のアトラスー宇宙をめぐる教会と科学の歴史ー」

開催期間：2024年10月21日(月)～12月14日(土)／開催日数：48日／総来館者数：1398人



	特別展	休館日	天気	市内	県内	県外	海外	不明	合計	学外一般	学内教職員	本学大学生	他大学生	高校生	中学生	小学生	幼児	合計	男性	女性	不明	合計
21日	特別展		晴	2	4	4	1	4	15	9		5	1					15	2	6	7	15
22日	特別展		雨	4	1	6			11	4		6	1					11	4	3	4	11
23日	特別展		曇	15	2	2	1		20	7		13						20	11	8	1	20
24日	特別展		曇	117	4				121	10		21			90			121	8	23	90	121
25日	特別展		晴	15	4	8		9	36	9		24	3					36	21	15		36
26日	特別展		曇	12	7	1		2	22	15		4	1			1	1	22	10	9	3	22
27日		休館日																				
28日	特別展		曇	14	4	2		11	31	11		19				1		31	11	17	3	31
29日	特別展		曇	3	4	6	4		17	11	2	3			1			17	5	5	7	17
30日	特別展		晴	17	3	5			25	9	16							25	9	9	7	25
31日	特別展		曇	8	4				12	7	5							12	6	6		12
小計	10	1		207	37	34	6	26	310	92	23	95	6	0	91	2	1	310	87	101	122	310
1日	特別展		雨	4	1	4			9	8		1						9	3	5	1	9
2日	特別展		雨	7	2	9	1		19	19								19	6	10	3	19
3日		休館日																				
4日	特別展		晴	8	4	4		5	21	19				1	1			21	10	11		21
5日	特別展		晴	6	3	2			11	7		4						11	2	9		11
6日	特別展		晴	4	3	2	3		12	10		2						12	7	5		12
7日	特別展		晴	11	3	1			15	12		3						15	2	12	1	15
8日	特別展		晴	10	4	3			17	13	1	2	1					17	5	8	4	17
9日	特別展		晴	17	10	10			37	32		1	2	1		1		37	9	15	13	37
10日		休館日																				
11日	特別展		晴	10	2	3		7	22	16	1	4				1		22	9	11	2	22
12日	特別展		晴	4	4		1		9	7		2						9	2	6	1	9
13日	特別展		晴	12	1	2			15	13		2						15	6	9		15
14日	特別展		晴	90	2	1		20	113	30			53				30	113	26	78	9	113
15日	特別展		雨	3	2	1	18	46	70	20		47	1			2		70	12	12	46	70
16日	特別展		曇	16	18	8	4	2	48	20		11		2	15			48	11	13	24	48
17日		休館日																				
18日	特別展		曇	3	2	5	4	127	141	13	1	127						141	9	5	127	141
19日	特別展		晴	3	1	3			7	5		2						7		4	3	7
20日	特別展		晴	8	2	1	2		13	8		5						13	5	8		13
21日	特別展		晴	10				2	12	8	1	3						12	5	7		12
22日	特別展		曇	11	2	3		1	17	11	1	3		2				17	7	9	1	17
23日	特別展		曇	24	6	4	1	5	40	32			5			2	1	40	20	14	6	40
24日		休館日																				
25日	特別展		晴	12	3	3			18	11		6					1	18	6	4	8	18
26日	特別展		晴	7	3	4		5	19	10		5	4					19	5	4	10	19
27日	特別展		雨	6	2	1		1	10	7		2		1				10	4	5	1	10
28日	特別展		雨	4	1	1			6	2		4						6		6		6
29日	特別展		雨	2		6		1	9	6		2	1					9	1	8		9
30日	特別展		晴	6	4	12			22	15	1	1	4	1				22	10	8	4	22
小計	26	4		298	85	93	34	222	732	354	6	239	71	8	16	6	32	732	182	286	264	732
1日		休館日																				
2日	特別展		晴	13	2	2		3	20	12		6	2					20	9	11		20
3日	特別展		晴	16	2	2			20	9		10	1					20	6	13	1	20
4日	特別展		曇	4	1	5			10	9	1							10	3	6	1	10
5日	特別展		曇	4	1	1			6	3		3						6	3	2	1	6
6日	特別展		曇	7	1	4		117	129	12	7	30			80			129	3	4	122	129
7日	特別展		曇	17	5	13			35	27			3	2		2	1	35	12	22	1	35
8日		休館日																				
9日	特別展		曇	9	1	2			12	8		2	2					12	2	5	5	12
10日	特別展		晴	8	1	4	30		43	41	1	1						43	4	7	32	43
11日	特別展		晴	12	4	3			19	15		2			1	1		19	5	6	8	19
12日	特別展		曇	4	5	1		1	11	6	1	4						11	2	6	3	11
13日	特別展		晴	4	5	3		11	23	15	1	7						23	12	11		23
14日	特別展		晴	15	3	7		3	28	28								28	10	10	8	28
小計	12	2		113	31	47	30	135	356	185	11	65	8	2	81	3	1	356	71	103	182	356
合計	48	7		618	153	174	70	383	1398	631	40	399	85	10	188	11	34	1398	340	490	568	1398

来館団体一覧

期日	見学時間	団体名・使用目的	人数
4月 9日	10:00～10:10	講義「基礎演習」	22
4月10日	—	学部演習(人間科学部)	7
4月10日	—	西南学院中学校	200
4月19日	—	学部演習(国際文化学部)	17
4月25日	—	学部演習(国際文化学部)	19
4月30日	—	講義「博物館経営論」	26
5月 1日	—	講義「博物館資料論」	23
5月 7日	—	学部演習(人間科学部)	4
5月24日	—	講義「博物館学」	35
6月 5日	—	学部演習(国際文化学部)	50
7月 9日	11:10～11:40	西南学院大学留学生別科 講義	21
8月 5日	—	西南学院中学校・高等学校	9
10月 4日	12:10～13:00	学部演習(国際文化学部)	16
10月15日	14:33～15:00	講義「文化創造論B」	41
10月21日	17:00～18:00	講義「博物館展示論」	33
10月24日	10:00～10:30	西南学院中学校	90
	11:00～11:30	西南学院中学校	
	12:30～13:00	西南学院中学校	
10月25日	11:10～11:30	福津市 有弥の里1区福祉会	27
11月 5日	9:30～11:30	講義「キリスト教学」	100
11月14日	10:00～10:30	香蘭女子短期大学	22
	15:30～16:00		31
11月15日	16:00～17:00	講義「考古学B」	46
11月18日	10:00～10:30	講義「西南学院史」	127
12月18日	10:00～10:30	講義「キリスト教学」	45
	12:00～12:30	講義「キリスト教学」	45
	10:00～11:00	西南学院中学校	35
1月28日	13:30～14:30	久留米信愛中学校・西南学院大学学生広報団体LUSH	80
2月 8日	11:00～11:25	福岡愛キリスト教会	23
2月19日	15:00～15:30	放課後等デイサービスガーデン	8
3月10日	16:15～16:25	講義「基礎演習」	8
3月12日	13:10～13:40	公益団体法人日本クリスチャン・アカデミー 関東活動センター	20

4. その他

メディア掲載一覧(TV、ラジオ、新聞、書籍、ネット記事等)

掲載日	媒体	タイトル	概要
2024年5月27日(月)	長崎新聞	朝鮮通信使 意義を読み解く 町田対馬博物館長が福岡で講演	企画展「描かれた朝鮮通信使」 関連講演会の紹介
2024年6月14日(金)	毎日新聞	負の歴史乗り越え交流 西南学院大学博物館企画展 「描かれた朝鮮通信使」	企画展「描かれた朝鮮通信使」の 紹介
2024年6月19日(水)	長崎新聞	江戸期の交流、美術からたどる 企画展「描かれた朝鮮通信使」 福岡で26日まで	企画展「描かれた朝鮮通信使」の 紹介
2024年7月8日(月)	キリスト新聞社(ウェブ版)	歴史学ぶワークショップも人気 西南学院大学博物館が評価される理由 8月には企画展「創られたキリシタン像(イメージ)」	企画展「創られたキリシタン像 (イメージ)」の紹介
2024年8月1日(木)	キリスト新聞社	歴史学ぶワークショップも人気 西南学院大学博物館 「創られたキリシタン像(イメージ)」	企画展「創られたキリシタン像 (イメージ)」の紹介
2024年9月18日(水)	西日本新聞	「創られたキリシタン像(イメージ)展 福岡市の西南大博物館 「虚構系資料」正面から紹介	企画展「創られたキリシタン像 (イメージ)」の紹介
2024年9月18日(水)	西日本新聞me	「虚構」のかくれキリシタン遺物、なぜ生まれた？ 西南大博物館で展示	企画展「創られたキリシタン像 (イメージ)」の紹介
2024年9月20日(金)	Yahoo! ニュース	“虚構系”のかくれキリシタン遺物 「悪いモノ」ではなく…タブー視せず紹介する展示会	企画展「創られたキリシタン像 (イメージ)」の紹介
2024年9月25日(水)	キリスト新聞社	【書評】『創られたキリシタン像(イメージ) 排耶書・実録・虚構系資料』 (西南学院大学博物館研究叢書) 鬼束芽依 編	企画展「創られたキリシタン像 (イメージ)」図録の書評
2024年9月28日(土)	長崎新聞	来月5日まで福岡・西南学院大博物館 死蔵状態を異例の展示 資料が語る「虚構」の背景	企画展「創られたキリシタン像 (イメージ)」の紹介
2024年11月26日(火)	キリスト新聞社	【書評】『知のアトラス 宇宙をめぐる教会と科学の歴史』 森 結 編	特別展「知のアトラス 宇宙をめぐる 教会と科学の歴史」図録の書評
2025年1月1日(水)	地方小出版情報誌「アクセス」	「新刊ダイジェスト 『知のアトラス 宇宙をめぐる教会と科学の歴史』 森 結 編』	特別展「知のアトラス 宇宙をめぐる 教会と科学の歴史」図録の書評

寄贈図書一覧

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
ノースアジア大学雪国民俗館	雪国民俗 第48号	報告書	2024	ノースアジア大学雪国民俗館
伝統芸能アーカイブ＆リサーチ オフィス(TARO)	伝統芸能文化創生プロジェクト 2023年度事業報告書	報告書	2024	伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィス(TARO)
東北大学総合学術博物館	東北大学総合学術博物館ニュースレター Omnividens No.70	小冊子	2024	東北大学総合学術博物館
帝国データバンク史料館	帝国データバンク史料館だより Muse 第44号	小冊子	2024	帝国データバンク史料館
壱岐市教育委員会	壱岐市文化財調査報告書 第37集	報告書	2024	長崎県壱岐市教育委員会
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究「令和4年度博物館園数関連統計」	雑誌	2024	公益財団法人日本博物館協会
広島県安芸郡府中町教育委員会	史跡下岡田官衙遺跡保存活用計画	雑誌	2024	広島県安芸郡府中町教育委員会教育長
公益財団法人 亀陽文庫 能古博物館	のこ博物館だより 第88号	小冊子	2024	公益財団法人 亀陽文庫 能古博物館
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No.120	小冊子	2024	日本工業大学工業技術博物館
東北大学総合学術博物館	東北大学総合学術博物館研究紀要 第23号	紀要	2024	東北大学総合学術博物館
久留米市美術館	久留米市美術館 年報6	年報	2024	久留米市美術館
公益財団法人 石橋財団	公益財団法人 石橋財団 アニュアル・レポート 2023	年報	2024	公益財団法人 石橋財団 アーティゾン美術館
東北大学学術資源研究公開センター 史料館	東北大学史料館だより 第40号	小冊子	2024	東北大学史料館
東北大学学術資源研究公開センター 史料館	東北大学史料館研究報告 第19号	報告書	2024	東北大学史料館
研究支援推進部	TOBUNKEN NEWS No.80	小冊子	2024	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
福永 将大	九州大学総合研究博物館ニュース No.41	小冊子	2024	九州大学総合研究博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告 第21号	報告書	2024	九州大学総合研究博物館
南島原市教育委員会 世界遺産推進課	令和5年度南島原市×西南学院大学博物館連携 世界遺産登録5周年「四郎と原城」	図録	2024	南島原市教育委員会
南島原市教育委員会 世界遺産推進課	令和5年度南島原市×西南学院大学博物館連携 世界遺産登録5周年「原城の記憶ー延岡藩・有馬氏の攻防ー」	図録	2024	南島原市教育委員会
諫早市美術・歴史館	開館10周年記念誌 & 研究紀要	研究紀要	2024	諫早市美術・歴史館
壱岐市教育委員会	壱岐市文化財調査報告書 第38集	報告書	2024	壱岐市教育委員会
広島大学総合博物館	総合博物館ニューズレター「HUM-HUM」 vol.17	小冊子	2024	広島大学総合博物館
八女市教育委員会	八女市文化財調査報告書 第140集 八女市内遺跡群23	報告書	2024	八女市教育委員会
八女市教育委員会	八女市文化財調査報告書 第141集 釘崎2号墳 鶴見山古墳4	報告書	2024	八女市教育委員会
八女市教育委員会	八女市文化財調査報告書 第142集 川犬治部遺跡第1次調査	報告書	2024	八女市教育委員会
八女市教育委員会	八女市文化財調査報告書 第143集 納楚遺跡群 納楚楠町遺跡第4次調査 納楚柳遺跡第5次調査	報告書	2024	八女市教育委員会
久留米文化財收藏館	收藏館ニュース 第20号	小冊子	2024	久留米市教育委員会
福岡県文化振興課	ちくごアートリレーション2023 福岡県文化芸術講座	小冊子	2024	ちくごアートファーム計画実行委員会
九州歴史資料館	九歴だより No.59	小冊子	2024	九州歴史資料館
九州歴史資料館	「土器が語る。多文化交流の町、西新町遺跡」 ～国内外あちこちからきました～	小冊子	2023	九州歴史資料館
平戸市生月町博物館	平戸市生月町博物館 島の館だより 特集 平戸民俗芸能 研究の手がかり	小冊子	2024	平戸市生月町博物館
大阪大谷大学博物館	大阪大谷大学博物館報告書第70冊「尾張椿井家文書」	報告書	2024	大阪大谷大学博物
愛知大学東亜同文書院大学記念センター	同文書院記念報 vol.32	紀要	2024	愛知大学東亜同文書院大学記念センター
愛知大学東亜同文書院大学記念センター	東亜同文書院記念基金会ニュース 第24号	小冊子	2024	愛知大学東亜同文書院大学記念センター
帝京大学総合博物館	帝京大学総合博物館 館報 第6号	その他	2024	帝京大学総合博物館
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告 X X VI	報告書	2024	帝塚山大学考古学研究所
帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館報 X IX	小冊子	2024	帝塚山大学附属博物館
駒澤大学禅文化歴史博物館	駒澤大学禅文化歴史博物館紀要第7号(令和4年度)	紀要	2024	駒澤大学禅文化歴史博物館
公益財団法人 鍋島報効会	微古館報 第43号	小冊子	2024	公益財団法人 鍋島報効会
関西大学博物館	関西大学文学部創設100周年・関西大学博物館開設30周年記念 連携企画展「花開く大阪の文化」	小冊子	2024	関西大学博物館
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究「令和5年度新館紹介」	雑誌	2024	公益財団法人 日本博物館協会
新潟市歴史博物館	新潟市博物館 博物館ニュースvol.61	小冊子	2024	新潟市歴史博物館
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第34集『常光寺前駅西側遺跡』	報告書	2024	南島原市教育委員会
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第35集『北岡金比羅祀遺跡』	報告書	2024	南島原市教育委員会
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第36集『町村遺跡』	報告書	2024	南島原市教育委員会
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第37集『二本櫓遺跡』	報告書	2024	南島原市教育委員会
学習院大学史料館	学習院大学史料館 ミュージウム・レターNo.53	その他	2024	学習院大学史料館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
玉川大学教育博物館	博物館ニュース「SHU」 No.62	小冊子	2024	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館紀要 第21号	紀要	2024	玉川大学教育博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館ニュース No.41	小冊子	2024	九州大学総合研究博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告 第21号	報告書	2024	九州大学総合研究博物館
筑紫野市歴史博物館	筑紫野市歴史博物館(愛称 ふるさと館ちくしの)年報24(令和4年度)	年報	2024	筑紫野市歴史博物館
龍谷大学龍谷ミュージアム	文明の十字路・バーミヤン大仏の太陽神と弥勒信仰 ガンダーラから日本へ	図録	2024	龍谷大学龍谷ミュージアム
長崎歴史文化博物館	れきぶん NEWS	小冊子	2024	長崎歴史文化博物館
シーボルト記念館	鳴滝紀要 第33号	紀要	2024	長崎市文化観光文化財課
シーボルト記念館	シーボルト記念館だより No.90	その他	2024	長崎市文化観光文化財課
坂口博・藤本久子	火野葦平資料の会 会報 あしへい通信 第9号	小冊子	2024	火野葦平資料の会
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報 No.20(2021年度・2022年度)	年報	2023	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 Newsletter No.49	小冊子	2023	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 Newsletter No.50	小冊子	2024	鹿児島大学総合研究博物館
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第346集 横隈上ノ原上遺跡5	報告書	2022	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第347集 上岩田天神木遺跡2	報告書	2022	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第356集 福童内畑遺跡	報告書	2023	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第358集 大坂井遺跡31	報告書	2024	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第359集 大坂井遺跡32	報告書	2024	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第360集 小坂井運輪遺跡6	報告書	2024	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第361集 小郡野口遺跡2	報告書	2024	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第362集 福童石橋遺跡	報告書	2024	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第363集 福童石橋遺跡2	報告書	2024	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第364集 小崎小園遺跡5	報告書	2024	小郡市教育委員会
福岡市博物館	令和3(2021)年度収集 収藏品目録39	目録	2024	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館研究紀要 第33号	紀要	2024	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館だよりFACATA No.131	小冊子	2024	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館だよりFACATA No.132	小冊子	2024	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館だよりFACATA No.133	小冊子	2024	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館だよりFACATA No.134	小冊子	2024	福岡市博物館
太宰府市文化ふれあい館	令和6年度企画展「近代のきらめき:古写真が伝える太宰府の文人たち」に係る冊子	小冊子	2024	太宰府市文化ふれあい館
須恵町教育委員会	須恵町文化財調査報告書第13集 佐谷観音谷経塚群 福岡県粕屋郡須恵町大字佐谷所在経塚の調査 令和6年3月31日	報告書	2024	須恵町教育委員会
学習院大学史料館	学習院大学史料館紀要 第30号	紀要	2024	学習院大学史料館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B類歴史 第21号	報告書	2024	北九州市立自然史・歴史博物館
國學院大學博物館	特別展『三嶋の神のモノガタリ―焼き出された伊豆の島ター』	図録	2024	國學院大學博物館
國學院大學博物館	企画展『有栖川宮家・高松宮家ゆかりの新収蔵品』	図録	2024	國學院大學博物館
國學院大學博物館	企画展『論語for Beginners―『論語』と格闘した江戸時代―』	図録	2024	國學院大學博物館
久留米市美術館	「芥川龍之介と美の世界 二人の先達―夏目漱石、菅虎雄」図録	図録	2024	久留米市美術館
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館 年報2023	年報	2024	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館 研究紀要24	紀要	2024	大分県立歴史博物館
早稲田システム開発株式会社	MAPPS press No.22	小冊子	2024	早稲田システム開発株式会社
早稲田システム開発株式会社	ミュージアムニュース(Case 208～212)	小冊子	2024	早稲田システム開発株式会社
桂川町教育委員会	桂川町文化財調査報告書 第22集天神山古墳 ―福岡県嘉穂郡桂川町大字豆田所在前方後円墳の調査―	報告書	2024	桂川町教育委員会
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 特集「博物館と食・食文化」	雑誌	2024	公益財団法人 日本博物館協会
公益財団法人 古都大宰府保存協会	機関誌『都府楼』第55号	小冊子	2024	公益財団法人 古都大宰府保存協会
阿部剛史・山田久恵	北海道大学総合博物館ニュース 第48号	小冊子	2024	北海道大学総合博物館
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No.121	小冊子	2024	日本工業大学工業技術博物館
長崎県文化観光国際部文化振興・世界遺産課	世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」研究紀要第3号 2冊	紀要	2024	長崎県文化観光国際部文化振興・世界遺産課
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	iichiko総合文化センター・大分県立美術館 総合情報誌2024SUMMER vol.105	小冊子	2024	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
福岡市総合図書館 文学・映像課 古文書係	古文書だより 第3号	小冊子	2024	福岡市総合図書館
福岡市総合図書館	福岡市総合図書館研究紀要 第24号	紀要	2024	福岡市総合図書館
東京大学史料編纂所	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信	その他	2024	東京大学史料編纂所
加藤久雄・野村俊之	旧大村藩領の近世の無墓標墓制の変異 その1, 長与町斎藤墓地における古墓の状況	その他	2024	石造遺産調査会
野村俊之・加藤久雄	旧大村藩領の近世の無墓標墓制の変異 その2, 西彼杵半島の近世墓制に関する予察	その他	2024	石造遺産調査会
長崎県文化振興・世界遺産課世界遺産班	世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」研究紀要 第3号	紀要	2024	長崎県文化振興・世界遺産課世界遺産班
立命館大学国際平和ミュージアム	『立命館大学国際平和ミュージアムだより』vol.32-1(通巻93号)	報告書	2024	立命館大学国際平和ミュージアム
福岡女学院資料室	福岡女学院資料室ジャーナル 第5号	雑誌	2024	福岡女学院資料室
那珂川町馬頭広重美術館	特別展『広重と国芳―同い年の浮世絵師―』	図録	2024	那珂川町馬頭広重美術館
神戸大学大学院海事科学研究科 海事博物館専門委員会	神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館研究年報 No.51	年報	2024	神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館
神戸大学海事博物館運営委員会	海事博物館 企画展図録2023 近代日本舟のあゆみ ～多種多様な船とその役割～	図録	2023	神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館
独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所	2024 独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所	その他	2024	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
宮崎県立西都原考古博物館	宮崎県立西都原考古博物館 研究紀要 第20号	紀要	2024	宮崎県立西都原考古博物館
天草市観光文化部文化課	天草市歴史資料調査報告書第5集 高浜村庄屋上田家文書資料集第1巻 潜伏キリシタン編	報告書	2024	天草市観光文化部文化課
宮崎県立西都原考古博物館	特別史跡 西都原古墳群発掘調査報告書 第16集	報告書	2024	宮崎県立西都原考古博物館
松本茂	令和6(2024)年度展示会I 海がつなが古代世界～対馬・西海・日向～	図録	2024	宮崎県立西都原考古博物館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
宮崎県立西都原考古博物館	2023(令和5)年度 宮崎県立西都原考古博物館年報	年報	2024	宮崎県立西都原考古博物館
福岡県地方史研究連絡協議会	第57回 福岡県地方史研究協議大会	雑誌	2024	福岡県地方史研究連絡協議会
公益財団法人 徳川記念財団	公益財団法人 徳川記念財団 会報 vol.40	小冊子	2024	公益財団法人 徳川記念財団
公益財団法人北海道新聞野生生物基金	モーリー通信3号	小冊子	2024	公益財団法人北海道新聞野生生物
佐賀大学美術館	佐賀大学美術館開館10周年記念事業 記録書	その他	2024	佐賀大学美術館
福岡アジア美術館	広報誌「あじびニュース第94号」	小冊子	2024	福岡アジア美術館
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	総合情報誌vol.106 2024AUTUMN	雑誌	2024	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
杵築市教育委員会	南部遺跡・下二ノ尾遺跡発掘調査報告書 大分県杵築市埋蔵文化財調査報告書 第28集	報告書	2024	杵築市教育委員会
杵築市教育委員会	井辻遺跡・井辻南遺跡・辻遺跡・上御入山遺跡発掘調査報告書 大分県杵築市埋蔵文化財調査報告書 第29集	報告書	2024	杵築市教育委員会
長崎歴史文化博物館	れきぶん NEWS	小冊子	2024	長崎歴史文化博物館
大阪大谷大学博物館	博物館だより No.137	小冊子	2024	大阪大谷大学博物
有馬記念館	有馬記念館年報 第10号	年報	2024	公益財団法人有馬記念館保存会
坂口博・藤本久子	火野葦平資料の会 会報 あしへい通信 第10号	その他	2024	火野葦平資料の会
日本基督教学会	『日本の神学』第63号	年報	2024	日本基督教学会
天草市観光文化部文化課 世界遺産・キリシタン資料館係	天草市キリシタン資料館年報	年報	2024	天草市観光文化部文化課 世界遺産・キリシタン資料館係
説話文学会	説話文学研究 第五十九号	その他	2024	杉山和也
新潟市歴史博物館	帆樫成林(はんしょうせいりん)第62号	小冊子	2024	新潟市歴史博物館
公益財団法人 日本博物館教会	博物館研究 特集「博物館の国際交流・国際連携」	雑誌	2024	公益財団法人 日本博物館協会
大分県立先哲史料館	史料館研究紀要 第29号	紀要	2024	大分県立先哲史料館
帝国データバンク史料館	帝国データバンク史料館だより Muse 第45号	小冊子	2024	帝国データバンク史料館
杵築市教育委員会	杵築城跡2—平成29～令和元年度 杵築城跡(台山部分)確認調査補足 報告書—大分県杵築市埋蔵文化財発掘調査報告書 第27集	報告書	2022	杵築市教育委員会
杵築市教育委員会	杵築市の古墳1—平成 24年度～平成29年度 杵築市内に分布する古墳の 墳丘測量調査報告書—大分県杵築市埋蔵文化財調査報告書 第24集	報告書	2018	杵築市教育委員会
杵築市教育委員会	杵築市の古墳2—平成27年度～令和4年度 杵築市内に分布する古墳の 墳丘測量調査報告書—大分県杵築市埋蔵文化財調査報告書 第30集	報告書	2022	杵築市教育委員会
杵築市教育委員会	杵築城下町7—杵築児童館遊具解体、付属施設建設および周辺工事に 伴う調査報告書—大分県杵築市埋蔵文化財調査報告書 第31集	報告書	2024	杵築市教育委員会
杵築市教育委員会	杵築城下町8—杵築城下町遺跡(南台・札ノ辻)個人住宅建設、および(北台)番所の 坂修景に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—大分県杵築市埋蔵文化財調査報告書 第32集	報告書	2024	杵築市教育委員会
天草キリシタン館	「天草四郎陣中旗」国の重要文化財指定60周年記念令和6年度天草キリ シタン館企画展 天草キリシタンの美術と史実—天草四郎陣中旗と原城—	図録	2024	天草キリシタン館
天草市観光文化部文化課世界遺産・ キリシタン資料館係	天草市立キリシタン資料館 年報	年報	2024	天草市観光文化部文化課 世界遺産・キリシタン資料館係
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース 第122号	小冊子	2024	日本工業大学工業技術博物館
キリスト教学校教育同盟	キリスト教学校教育 777号	その他	2024	キリスト教学校教育同盟
長崎純心大学博物館	「元和の大殉教400年」記念講演集	その他	2024	長崎純心大学博物館
長崎純心大学博物館	長崎学研究17号	雑誌	2024	長崎純心大学博物館
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 年報15 2023	年報	2024	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
九州歴史資料館	九歴だより No.60	小冊子	2024	九州歴史資料館
浅野佳子	福岡市美術館 季刊誌エスプラナード 217号	小冊子	2024	福岡市美術館
宮崎県立西都原考古博物館	令和6年度展覧会Ⅱ企画展『「土偶の美」と「縄文の美」 ～東北日本と九州～』	図録	2,024	宮崎県立西都原考古博物館
福永 将大	九州大学総合研究博物館ニュース No.42	小冊子	2024	九州大学総合研究博物館
新修宗像市史編集委員会	宗像市史研究 第6号	その他	2024	新修宗像市史編集委員会
キリスト新聞社	The Kirisuto Shimbun KiriShin No.3687	その他	2024	キリスト新聞社
嘉麻市教育委員会	『語り伝える 戦争の話』記録集3	その他	2024	嘉麻市教育委員会
事業普及委員会	大学教育と情報	その他	2024	事業普及委員会
下関市立歴史博物館	特別展「天下太との邂逅ー海峡の戦国史 第3章」	図録	2024	下関市立歴史博物館
大分県芸術文化スポーツ振興財団	総合情報誌vol.107 2024 WINTER	雑誌	2024	大分県芸術文化スポーツ振興財団
キリスト教学校教育同盟	キリスト教学校教育 778号	その他	2024	キリスト教学校教育同盟
社会福祉法人バプテスト心身障害児(者)を守る会	愛の手を 第217号	その他	2024	社会福祉法人バプテスト心身障害児(者)を守る会
公益財団法人大学基準協会	広報誌「JUAA じゅあ」No.73	小冊子	2024	公益財団法人大学基準協会
朝倉市秋月博物館	秋月藩成立400年記念特別展Ⅱ「受け継がれし秋月藩―藩主の心得―」	図録	2024	朝倉市秋月博物館
(公財)福岡市文化芸術振興財団	機関誌「Wa」Vol.95	小冊子	2024	(公財)福岡市文化芸術振興財団
佛教大学宗教文化ミュージアム	令和六年度特別展 法然マニアな人々 ー佛教大学法然仏教学研究センターの10年ー	図録	2024	佛教大学宗教文化ミュージアム
東京大学史料編纂所	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第105号	その他	2024	東京大学史料編纂所
長崎歴史文化博物館	長崎れきぶんNEWS NO.067	小冊子	2024	長崎歴史文化博物館
佐賀大学地域学歴史文化研究センター	令和六年度佐賀大学・小城市交流事業特別展「小城の士族と佐賀事変」	図録	2024	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
佐賀大学地域学歴史文化研究センター	令和六年度佐賀大学・小城市交流事業特別展 「小城の士族と佐賀事変」史料集	その他	2024	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
中部大学民族資料博物館	2024中部大学民族資料博物館 秋季企画展「江戸の牡丹ブームと芭蕉」展	図録	2024	中部大学民族資料博物館
中部大学民族資料博物館	中部大学民族資料博物館 年報2022 11号	年報	2024	中部大学民族資料博物館
中部大学民族資料博物館	中部大学民族資料博物館 年報2023 12号	年報	2024	中部大学民族資料博物館
中部大学民族資料博物館	中部大学民族資料博物館 講演記録 2023	その他	2024	中部大学民族資料博物館
中部大学民族資料博物館	中部大学民族資料博物館ニュースレター 19号	小冊子	2024	中部大学民族資料博物館
関西学院大学博物館	大学博物館10周年記念 天を見あげて 関西学院のヴォーリス建築	図録	2024	関西学院大学博物館
立命館大学国際平和ミュージアム	立命館大学国際平和ミュージアムだより Vol.32-2号	小冊子	2024	立命館大学国際平和ミュージアム
研究支援推進部	TOBUNKEN NEWS No.81	小冊子	2024	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館	公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館 研究紀要 第5号	紀要	2024	公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館
福岡アジア美術館	あじびニュース 第95号	小冊子	2024	福岡アジア美術館
日本放送協会NHK出版	NHKシリーズ3か月でマスターする江戸時代	その他	2024	日本放送協会NHK出版
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュースNo.123	小冊子	2024	日本工業大学工業技術博物館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
大分県芸術文化スポーツ振興財団	大分県立美術館 総合情報誌	小冊子	2024	大分県芸術文化スポーツ振興財団
立正大学博物館	立正大学博物館館報 万吉だより	小冊子	2024	立正大学博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館館報 第22号	館報	2024	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	博物館ニュース「SHU」No.63	小冊子	2024	玉川大学教育博物館
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 特集「意外と面白い?!パッケージ展・巡回展」	雑誌	2025	公益財団法人 日本博物館協会
火野葦平資料館	あしへい通信 第11号	小冊子	2025	火野葦平資料館
全日本博物館学会	博物館学雑誌 第50巻 第1号	雑誌	2025	全日本博物館学会
全日本博物館学会	学会ニュース No.148	小冊子	2025	全日本博物館学会
長崎県文化観光国際部 文化振興・世界遺産課	長崎県文化財調査報告書 第219集 長崎かくれキリシタン信仰用具民俗文化財調査事業報告書	報告書	2025	長崎県文化観光国際部文化振興・世界遺産課
長崎県文化観光国際部 文化振興・世界遺産課	長崎県文化財調査報告書 第219集 長崎かくれキリシタン信仰用具民俗文化財調査事業報告書―資料目録―	目録	2025	長崎県文化観光国際部文化振興・世界遺産課
長崎県文化観光国際部 文化振興・世界遺産課	長崎県文化財調査報告書 第220集 長崎かくれキリシタン信仰用具 民俗文化財調査事業報告書―資料目録―別表	その他	2025	長崎県文化観光国際部文化振興・世界遺産課
福岡市美術館	令和5年度 福岡市美術館活動の記録	年報	2024	福岡市美術館
京都大学大学文書	『京都大学大学文書だより』第47号	小冊子	2025	京都大学大学文書
学習院大学	『学芸員―Bulletin for Curator's Course No.28』	その他	2025	学習院大学
西都原考古博物館	令和6年度展示会Ⅲ 図録「美と権の装身具～玉が映した宮崎の古墳文化～」 図録	図録	2025	西都原考古博物館
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館ニュース「帆樫成林」	小冊子	2025	新潟市歴史博物館
株式会社クマヒラ・ホールディングス	抜萃のつまり その八十四	その他	2025	株式会社クマヒラ・ホールディングス
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究 特集「保存修理の問題対応事例」	雑誌	2025	公益財団法人日本博物館協会
公益財団法人日本海事科学振興財団船の 科学館	『船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」』	小冊子	2025	公益財団法人日本海事科学振興財団船の 科学館
長崎県杵岐市教育委員会	令和6年度「市内埋蔵文化財」地域の特色ある埋蔵文化財活用事業作成 パンフレット再整理資料一斉公開展展示解説ガイドブック	図録	2025	長崎県杵岐市教育委員会
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要 第43号	紀要	2024	南山大学人類学博物館
適塾記念会	適塾 No.57	会誌	2025	適塾記念センター
北海道大学総合博物館	北海道大学総合博物館ニュース 第49号	小冊子	2025	北海道大学総合博物館
伊藤昭弘	佐賀を動かす～若き日の鍋島茂義と佐賀藩政～	図録	2025	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
八女市岩戸山歴史文化交流館	八女市岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷」年報8-令和5年度-	年報	2025	八女市岩戸山歴史文化交流館
東北学院大学博物館	東北学院大学博物館企画展図録「KOREMITE vol.10:南津島の田植踊を 1000倍楽しむガイドブック」	図録	2025	東北学院大学博物館
東北学院大学博物館	東北学院大学博物館情報誌「OTAKUみゅーじあむ8号:オタクな展示 お宅にいかが?」	その他	2025	東北学院大学博物館
佐賀大学美術館	佐賀大学美術館SUAM令和4年度年報	年報	2025	佐賀大学美術館
佐賀大学美術館	SUAM/ROOT Vol.1「瀬戸口朗子:幕間展」	小冊子	2025	佐賀大学美術館
佐賀大学美術館	SUAM/ROOT Vol.1「黒木由美:展」	小冊子	2025	佐賀大学美術館
佐賀大学美術館	あらわすいとなみVol.1「kioku手芸館たんす展」	その他	2025	佐賀大学美術館
佐賀大学美術館	特別展図録「佐賀の近代日本画」	図録	2025	佐賀大学美術館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
佐賀大学美術館	特別展「佐賀の近代日本画」記録集	その他	2025	佐賀大学美術館
神崎哲也	国東市文化財調査報告書 第4集 千燈寺跡 西之坊跡周辺発掘調査報告書	報告書	2024	国東市教育委員会
公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団	ゆくゆく美術館	小冊子	2025	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 特集「第72回全国博物館大会報告」	雑誌	2025	公益財団法人 日本博物館協会
天草市観光文化部文化課	天草市歴史資料調査報告書第6集 高浜村庄屋上田家文書資料集 第2巻 災害編	報告書	2025	天草市観光文化部文化課
九州芸文館美術展実行委員会	「旧上庄小レジデンスプログラム2023」	図録	2025	九州芸文館美術展実行委員会
立正大学博物館	立正大学博物館 年報21 令和4(2022)年度 令和5(2023)年度	年報	2025	立正大学博物館
立正大学ロータスギャラリー特別展示室	ロータスギャラリー特別展示室だより No.4	小冊子	2025	立正大学博物館
緒方 泉(委員長・九州産業大学地域共創学部特任教授)	令和6年度 文化庁「大学における文化芸術推進事業」実施報告書	報告書	2025	九州産業大学美術館
緒方 泉(委員長・九州産業大学地域共創学部特任教授)	令和6年度 文化庁「大学における文化芸術推進事業」2025 九州産業大学国際シンポジウム 博物館と医療・福祉のよりよい関係 ～日本・英国をつなぐオンライン開催～	小冊子	2025	九州産業大学美術館
久留米市美術館	ちくごist 尾花成春	図録	2024	久留米市美術館
久留米市美術館	日本が見たドニ ドニの見た日本 Maurice Denis and Japan	図録	2024	久留米市美術館
宗教部長 濱野道雄	西南学院大学チャペル講和集 第58号	その他	2025	西南学院総務部キリスト教支援課
公益財団法人 亀陽文庫 能古博物館	のこ博物館だより 第89号	小冊子	2025	公益財団法人 亀陽文庫 能古博物館
長崎歴史文化博物館	れきぶんNEWS No.068	小冊子	2025	長崎歴史文化博物館
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No.124	小冊子	2025	日本工業大学工業技術博物館
苅田町教育委員会	苅田町文化財調査報告書第51 集 国指定史跡御所古墳調査概報5 ー平成24年度、令和2～4年度町内遺跡範囲確認調査概報ー	報告書	2024	苅田町教育委員会
立命館大学国際平和ミュージアム	立命館大学国際平和ミュージアムだより Vol.32-3号(通巻95号)	小冊子	2025	立命館大学国際平和ミュージアム
國學院大學博物館	國學院大學博物館 研究報告 第41輯	報告書	2025	國學院大學博物館
福史連	地方史ふくおか Vol.58 No.1 通巻第174号	小冊子	2024	福史連
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館研究紀要 第20号	紀要	2024	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館 開館20周年記念企画展 北前船と新潟 ー廻船と日本海海運の時代ー	図録	2024	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館 開館20周年記念「新潟地震 60年記録集」	図録	2024	新潟市歴史博物館
大阪大谷大学博物館	博物館だより No.138	小冊子	2025	大阪大谷大学博物
立命館大学 文学部	学芸員 NEWS LETTER 第37号	小冊子	2025	立命館大学 文学部
公益社団法人 私立大学情報教育協会	大学教育と情報	その他	2024	公益社団法人 私立大学情報教育協会
伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(TARO)	伝統芸能文化創生プロジェクト2024年度事業報告書	報告書	2025	伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(TARO)
東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室	東京都江戸東京博物館紀要 第15号	紀要	2025	東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室
帝国データバンク史料館	TEIKOKU HISTORICAL MUSEUM MUSE Vol.46	小冊子	2025	帝国データバンク史料館
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館 館報 第27号	報告書	2025	同志社大学歴史資料館
公益信託松尾金蔵記念奨学基金	明日へ翔ぶー人文社会学の新視点ー8	その他	2025	公益信託松尾金蔵記念奨学基金

博物館規程

西南学院大学博物館規程

2005（平成17）年10月5日
制定

（趣旨）
第1条 この規程は、西南学院大学学則（昭和24年4月1日）第5条に基づき、西南学院大学（以下「本学」という。）に設置する博物館に関する必要な事項を定める。

（名称及び位置）
第2条 名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
西南学院大学博物館（ドージャー記念館）	福岡市早良区西新三丁目13番1号

（目的）
第3条 西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）は、次に掲げる事項を目的とする。
（1）キリスト教文化、教育文化、地域文化、西南学院史等に関する博物館資料（以下「資料」という。）の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関する事項
（2）前号の資料の調査研究に関する事項
（3）本学学生、教職員等の西南学院関係者並びに一般市民等の教養及び調査研究に資するために必要な事業の実施に関する事項

（事業）
第4条 博物館は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。
（1）実物、標本、模型、文献、図表、写真、スライド、ビデオ、DVD、CD等の収集、整理、保管、閲覧及び展示
（2）資料に関する専門的及び技術的な調査研究の実施
（3）本学学生、教職員等の学院関係者及び一般市民等への資料に関する必要な解説、助言、指導等
（4）資料に関する講演会、講習会、研究会等の主催及びその開催の援助
（5）資料に関する案内書、解説書、目録、年報、調査報告書等の作成及び頒布
（6）他の博物館等との刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借の実施
（7）本学学生に対する博物館実習の実施
（8）その他必要と認められる事業

（職員）
第5条 博物館に、館長その他必要な職員を置く。

第6条 館長は、館務を統括し、博物館を代表する。
2 館長は、本学の専任教授のうちから、学長が任命する。
3 館長の任期は2年とし、再任を妨げない。

第7条 博物館に、専門的職員として学芸員を置く。
2 前項の学芸員の他に学芸員資格を有する本学教員を加えることができる。
3 学芸員は、資料の収集、整理、保管、閲覧、展示及び調査研究その他これに関する事項について、専門的業務を行う。

第8条 博物館に博物館事務室を置き、事務職員を配置する。
2 事務職員は、博物館運営に係る事項及び庶務の事項を行う。

（博物館協議会）
第9条 博物館に、館長の諮問に応えるための機関として西南学院大学博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

第10条 協議会に関する事項は、西南学院大学博物館協議会規則（2005（平成17）年10月5日）に定める。

（博物館の管理運営）
第11条 博物館の利用及び管理運営については、西南学院大学博物館管理運営規則（2005（平成17）年10月5日）（以下「管理運営規則」という。）に定める。

（規格外事項の処理）
第12条 この規程に定めのない事項で博物館に関して必要な事項は、協議会の意見を聴いて、館長が定める。

（所管部署）
第13条 この規程に関する事務は、総合企画部社会連携課博物館事務室の所管とする。

（規程の改廃）
第14条 この規程の改廃は、管理運営規則第12条に規定する博物館管理運営委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則
1 この規程は、2006（平成18）年4月1日から施行する。
2 初代館長の任期は、第6条第3項の規定にかかわらず、2006（平成18）年4月1日から2007（平成19）年6月30日までとする。

附 則
この規程は、2006（平成18）年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館協議会規則

2005(平成17)年10月5日
制定

(趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第9条に規定する西南学院大学博物館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 協議会は、西南学院大学博物館(以下「博物館」という。)の運営に関し、館長の諮問に応えるとともに、博物館の行う博物館資料の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関して調査審議し、館長に意見を述べるものとする。

2 前項の博物館資料の収集については、西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規(2016(平成28)年3月9日)に定める。

(委員)

第3条 協議会は、次に掲げる委員6名をもって構成する。

- (1) 学芸員資格をもつ大学教員1名
- (2) 大学教員1名
- (3) 本部・大学事務職員1名
- (4) 学外の博物館関係者3名

第4条 前条に掲げる協議会の委員は、館長が指名する。

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第6条 協議会に、会長及び副会長各1名を置く。

第7条 会長及び副会長は、委員の互選によるものとし、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第8条 会長は、会務を総理する。

第9条 副会長は、会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議の招集)

第10条 協議会の会議は、必要に応じ、会長が招集する。

2 館長が必要と認めたときは、会長に協議会の招集を求めることができる。

(議決)

第11条 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(所管部署)

第13条 この規則に関する事務は、総合企画部社会連携課博物館事務室の所管とする。

(規則の改廃)

第14条 この規則の改廃は、協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

附 則

1 この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

2 初代委員及び同会長、同副会長の任期は、第5条及び第7条の規定にかかわらず、2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年6月30日までとする。

附 則

この規則は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2024年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館管理運営規則

2005(平成17)年10月5日
制定

(趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第11条に基づき、西南学院大学博物館(以下「博物館」という。)の利用及び管理運営について定める。

(休館日)

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭(12月25日)
- (3) 年末年始の休日(12月28日から1月5日)

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めたときは、臨時に休館又は開館することができる。ただし、この場合は、館長は、その都度あらかじめ日時を公示しなければならない。

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、入館は午後5時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めたときは、当該時間を変更することができる。

(入館料)

第4条 入館料は、無料とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別展示など館長が必要と認めたときは、有料とすることができる。

(入館の制限)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、入館を禁じ、又は退館を命じることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、展示品、保管物又は施設設備を損傷するおそれがあると認められるとき
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき
- (3) その他管理上支障があると認められるとき

(資料の閲覧等)

第6条 館長が必要と認めたときは、利用者の依頼により、その調査研究の用に供するために、博物館の所蔵する資料(以下「資料」という。)の閲覧又は複写を許可することができる。

2 資料の閲覧又は複写をしようとする者は、あらかじめ資料の閲覧又は複写の申請をしなければならない。

第7条 次に該当する資料は、閲覧又は複写を制限することがある。

- (1) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの
- (2) 現に展示中のもの
- (3) 寄託された資料及び借用した資料で、寄託者又は貸出者の承諾を得ていないもの
- (4) その他館長が不適当と認めたもの

(資料の貸出し)

第8条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、資料の館外貸出しを行うことができる。

- (1) 博物館その他これに相当する施設が行う展示の用に供するとき
- (2) 学校が授業の用に供する場合で、館長が適当と認めたとき
- (3) その他館長が適当と認めたとき
- 2 資料の館外貸出しを希望する者は、別に定めるところにより、館長の許可を受けなければならない。
- 3 資料の館外貸出しの許可を受ける者は、資料借用書を館長に提出しなければならない。
- 4 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、館長の指示するところにより、管理にあたらなければならない。
- 5 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、当該資料を他に転貸してはならない。
- 6 資料の貸出期間は、館長がその都度定める。

(損害の賠償)

第9条 見学者等の博物館の利用者又は資料の館外貸出しの許可を受けた者が、故意又は過失など自己の責に帰すべき理由により、施設設備、展示資料又は貸出資料を損傷し、又は滅失したときは、館長の指示を受けてこれを原形に復し、又は館長が定める相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。ただし、館長が特にやむを得ない事情があると認めたときは、この限りではない。

(資料の寄贈)

第10条 博物館は、資料の寄贈を受けることができる。

- 2 博物館に資料を寄贈しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。
- 3 館長が寄贈を受けることを決定した場合は、本人にこの旨を通知するものとする。
- 4 寄贈を受けた資料は、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を表記し、永くその篤志を伝える。

(資料の寄託)

第11条 博物館は、資料の寄託を受けることができる。

- 2 博物館に資料を寄託しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。
- 3 館長が寄託を受けることを決定した場合は、寄託者にこの旨を通知するものとする。
- 4 寄託資料の寄託期間は、その都度館長が寄託者と協議して定める。

- 5 寄託資料は、博物館所蔵の資料と同一の取扱いとする。
- 6 寄託資料は、あらかじめ定められた寄託期間にかかわらず、寄託者の請求又は博物館の都合により、これを返還することがある。
- 7 寄託資料が、天災その他の不可抗力によって損傷又は滅失したとき、博物館は損害賠償の責を負わない。

(博物館管理運営委員会)

第12条 博物館の運営に関する事項を協議する機関として博物館管理運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

第13条 委員会は、委員長1名、委員5名をもって構成する。

第14条 委員長は、館長が兼任するものとする。

第15条 委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 博物館学芸員課程主任
- (2) 神学部長
- (3) 総合企画部長
- (4) 社会連携課長
- (5) 博物館教員

第16条 委員の任期は、各委員の役職在任期間とする。

第17条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができるものとする。

第18条 委員会は、委員長がこれを招集して、その議長となる。ただし、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、委員の互選によって議長を決定する。

(議決)

第19条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(補則)

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、館長が別に定める。

(所管部署)

第21条 この規則に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(規則の改廃)

第22条 この規則の改廃は、委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2024年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館（ドージャー記念館）講堂使用内規

2006（平成18）年6月14日
制定

（趣旨）

第1条 この内規は、西南学院大学博物館管理運営規則（2005（平成17）年10月5日）第20条の規定に基づき、西南学院大学博物館（ドージャー記念館）講堂（以下「講堂」という。）の使用に関する事項を定める。

（目的）

第2条 講堂は、西南学院大学博物館規程（2005（平成17）年10月5日）第3条の目的を達成するための活動の場として供することを目的とする。

（使用許可要件）

第3条 西南学院大学博物館長（以下「館長」という。）は、次に掲げる事項に該当する場合、講堂の使用を許可する。ただし、本学の建学の精神に反する目的及び内容である場合は、この限りでない。

- (1) 大学が主催する行事（授業及びチャペル・アワーを含む）
- (2) 大学学生団体が主催し、かつ、学生部長が認めた行事
- (3) 大学教職員が主催する行事
- (4) 大学同窓会が主催する行事
- (5) その他、特に館長が許可する行事

（使用時間）

第4条 講堂の使用時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、館長が必要と認めたときは、この限りでない。

（休館日）

第5条 次に掲げる休館日は、講堂を使用できないものとする。ただし、館長が必要と認めたときは、この限りでない。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭（12月25日）
- (3) 年末年始の休日（12月28日から1月5日まで）
- (4) 館長が、建物又は備品の修理その他の理由により必要と認めた日

（使用願の提出）

第6条 講堂の使用を希望する者又は団体（以下「使用者」という。）は、所定の使用願を社会連携課博物館事務室（以下「博物館事務室」という。）に提出し、館長の許可を受けなければならない。この場合において、使用者が、時間外又は休館日の使用を希望するときも同様とする。

2 前項の使用願の申込み期限は、使用予定日の1か月前とする。

（講堂使用料）

第7条 講堂の使用料は、無料とする。ただし、第3条第3号及び第4号に該当し、かつ、入場料を徴収する行事又は第3条第5号に該当する行事は、有料を原則とする。

2 前項ただし書に該当する場合の使用料金及び時間外管理経費は、次に掲げるとおりとする。

使用料金（税込み）	時間外管理経費（税込み）
1時間当たり 5,000 円	5時間以内 10,000 円
	5時間超 20,000 円

（講堂内の禁止行為）

第8条 講堂内においては、次に掲げる行為を禁止する。

- (1) 火気の使用
- (2) 許可なく物品の販売を行うこと
- (3) 許可なく金品の寄付募集を行うこと
- (4) 許可なく展示、掲示及び広告又は宣伝を行うこと
- (5) 飲食及び飲酒
- (6) 喫煙
- (7) 凶器及び危険物等の搬入
- (8) 喧騒にわたる行為
- (9) スパイクシューズ及び下駄ばき
- (10) 許可なく備品（長椅子等）を移動すること

（臨時設備及び物品の搬入、搬出）

第9条 使用者が、その活動のために臨時設備を施し、又は講堂常備品以外の物品を搬入しようとするときは、あらかじめ館長の許可を受け、係員の指示に従わなければならない。

2 臨時設備又は物品の搬出に遅滞があった場合は、館長が適宜に措置を講ずることができるものとする。この場合において、搬出費用は、使用者の負担とする。

（使用の取消又は中止）

第10条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、その使用許可を取消し又は使用を中止させることができる。

- (1) 建物又は備品等を破壊するおそれがあるとき
- (2) 秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき

- (3) 虚偽の申込みが判明したとき
- (4) 博物館事務室の指示に従わなかったとき
- (5) その他管理上支障があると認めたとき

(損害賠償)

第11条 使用者は、建物、付帯設備、備品等を汚損、破壊又は滅失した場合、博物館事務室に届け出て、その損害を賠償しなければならない。

(所管部署)

第12条 この内規に関する事務は、総合企画部社会連携課事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第13条 この内規の改廃は、博物館管理運営委員会の議を経て、館長が行う。

附 則

この内規は、2006(平成18)年6月14日から施行する。

附 則

この内規は、2010(平成22)年5月12日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2024年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館(ドージャー記念館) パイプオルガンの管理及び使用に関する内規

2007(平成19)年5月24日
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)設置のパイプオルガンの管理及び使用を円滑に行うため、必要な事項を定めるものとする。

(管理)

第2条 パイプオルガンの管理は、学長の委嘱により博物館長及び大学事務長が協議の上、これにあたる。

(委員会の構成)

第3条 第1条の事項を協議するためパイプオルガン管理運用委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 大学事務長
- (2) 学院宗教主事(音楽担当)(以下「宗教主事」という。)
- (3) 博物館学芸員
- (4) 学長が委嘱する教員(神学部教員を含む)若干名
- (5) 総務課長
- (6) 施設課長
- (7) 宗教部事務室責任者
- (8) 博物館事務室責任者

3 前項第2号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第4条 委員会には、委員長を置き、大学事務長がこれにあたる。

2 委員長に事故あるときは、前条第2項の委員の互選によりこれを定める。

(招集及び議事)

第5条 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(使用対象者)

第6条 パイプオルガンの使用は、博物館長が講堂の使用を認めた行事に際し、次に掲げる者に限り認めるものとする。

- (1) 宗教主事
- (2) 宗教主事が推薦する者
- (3) パイプオルガンを使用する授業科目担当者及び受講生
- (4) コンサート等のため学長が、特に推薦する者

(使用時間)

第7条 パイプオルガンの使用時間は、午前10時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、博物館長が必要と認めたときは、当該時間を変更することができる。

(使用手続等)

第8条 パイプオルガンの使用を希望する者は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規(2006(平成18)年6月14日)第6条第1項の使用願により許可を得るものとする。

2 パイプオルガン使用の際は、博物館事務室係員の指示に従うものとする。

(使用者の管理義務)

第9条 パイプオルガンの使用者は、次に掲げる事項について特に注意しなければならない。

- (1) パイプオルガン使用中の鍵の管理
- (2) 使用後のパイプオルガンの施錠
- (3) 鍵の返却

2 故障又は調整の必要が生じた時は、直ちに宗教主事及び博物館事務室責任者に通知すること。

(定めのない事項)

第10条 パイプオルガンの管理及び使用について、この内規に定めのない事項については、必要に応じ学長と大学事務長が協議の上、決定する。

(所管部署)

第11条 この内規に関する事務は、博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第12条 この内規の改廃は、委員会の議を経て学長が行う。

附 則

この内規は、2007(平成19)年5月24日から施行し、2007(平成19)年5月15日から適用する。

附 則

この内規は、2009(平成21)年7月30日から施行する。

西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規

2016(平成28)年3月9日
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館協議会規則(2005(平成17)年10月5日)第2条第2項に基づき、博物館資料の収集に必要な事項を定めるものとする。

(委員会の設置)

第2条 博物館において所蔵する資料の収集を適正かつ円滑に行うため、博物館資料収集検討委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 博物館長(以下「館長」という。)
 - (2) 館長が委嘱する専任教員若干名
 - (3) 博物館教員
 - (4) 大学事務長
- 2 次条第1項第1号の資料を審議する場合は、前項の委員の他に当該資料に関する専門家(以下「専門家」という。)を委員として加えなければならない。
- 3 専門家は、やむを得ず委員会に出席できないときは、必ず当該資料収集に関する意見書を館長に提出しなければならない。
- 4 役職者以外の委員(専門家を除く。)の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、役職上の委員の任期は、その職にある期間とする。

(委員会の開催要件)

第4条 委員会は、次に掲げる場合に開催しなければならない。

- (1) 1資料の価格(税込み)が100万円を超える場合
- (2) 当該年度の資料購入予算限度額を超える場合
- (3) その他、館長が諮問する場合

(委員長)

第5条 委員会に、委員長を置く。

- 2 委員長は、館長がこれに当たる。館長が欠けたとき又は館長に事故あるときは、委員の互選によって、これを定める。

(招集等)

第6条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、必要に応じて委員以外の者(学外者を含む。)の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(委員会の成立及び議事)

第7条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。

- 2 委員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(所管部署)

第8条 この内規に関する事務は、総合企画部社会連携課博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第9条 この内規の改廃は、西南学院大学博物館協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

附 則

この内規は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2024年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館学外研究員に関する内規

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第7条第2項に基づき、西南学院大学博物館(以下「博物館」という。)の学外研究員に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 学外研究員とは、博物館の事業を推進し、諸活動に寄与することを目的とし、博物館の関係者と協力して資料の収集及び研究に従事する学外者をいう。

2 前項の学外者とは、原則として次に掲げる者をいう。

(1) 国立、公立及び私立の教育研究機関に所属する、又は所属した教育職員及び研究者

(2) 博物館資料の調査、収集、整理、保存、公開展示等について専門知識を有する者

(申込み)

第3条 学外研究員を希望する者は、所定の様式による学外研究員受入申請書を博物館長(以下「館長」という。)に提出しなければならない。

(受入れ)

第4条 学外研究員の受入れに関しては、館長の承認を得て、博物館管理運営委員会(以下「委員会」という。)に報告するものとする。

(受入れ期間)

第5条 学外研究員の受入れ期間は、原則として2年とする。ただし、館長が必要と認めたときは、これを更新することができる。

2 館長が、博物館における業務遂行に支障があると判断したときは、その職務を解くことができる。

(待遇)

第6条 学外研究員と博物館の間には、雇用関係は生じないものとする。

(施設等の使用)

第7条 学外研究員は、本学の教育・研究に支障のない範囲において、大学図書館及び博物館の施設を利用でき、博物館の所蔵資料を調査研究することができる。ただし、研究室は、原則として提供しない。

(刊行物への執筆)

第8条 学外研究員は、博物館が発行する刊行物に執筆し、その刊行物を受け取ることができる。

(所管部署)

第9条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第10条 この内規の改廃は、委員会の議を経て、館長が行う。

附 則

この内規は、2020(令和2)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館組織

大学博物館

- 館長 松原 知生（兼任 本学国際文化学部教授）
 専門：美術史
 特に中近世イタリア絵画史、日本近代骨董文化史について研究。
- 博物館教員 宮川 由衣（専任 助教・学芸員）
 専門：美術史
 特に20世紀の「聖なる芸術（アール・サクレ）」運動について研究。

博物館事務室

臨時職員

- 事務職員 吉田 進
- 学芸研究員 鬼束 芽依（調査研究担当学芸員）
- 学芸調査員 馬場 紀聡（本学国際文化研究科博士前期課程）
 栗田 りな（本学国際文化研究科博士前期課程）
 村田 早紀（本学国際文化学部国際文化学科生）
 大番 島（本学国際文化学部国際文化学科生）
 柳川 桜子（本学国際文化学部国際文化学科生）
 松尾 優里（本学国際文化学部国際文化学科生）

博物館管理運営委員会(西南学院大学博物館管理運営規則第14条～15条)

- 委員長 松原 知生（博物館長）
- 委員 柳沢 史明（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）
 日原 広志（神学部長 本学神学部教授）
 大坪 靖（総合企画部長）
 和泉 秀機（社会連携課長 博物館事務室責任者）

博物館協議会(西南学院大学博物館協議会規則第3条)

- 会長 富田 淳(九州国立博物館館長)
- 副会長 中野 等(福岡市博物館館長)
- 委員 柳沢 史明(博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授)
 山根 明弘(本学人間科学部社会福祉学科教授)
 大坪 靖(総合企画部長)
 佐伯 道彦(福岡県私学協会福岡地区支部長)

西南学院大学博物館年報 第17号
2024

発行日 2025年10月31日

編集発行 西南学院大学博物館
〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92
TEL(092)823-4785 FAX(092)823-4786

印刷 ダイヤモンド秀巧社印刷株式会社
〒812-0064 福岡市東区松田3-9-32
TEL(092)621-8711 FAX(092)621-9459

